

## 26 喫煙の状況

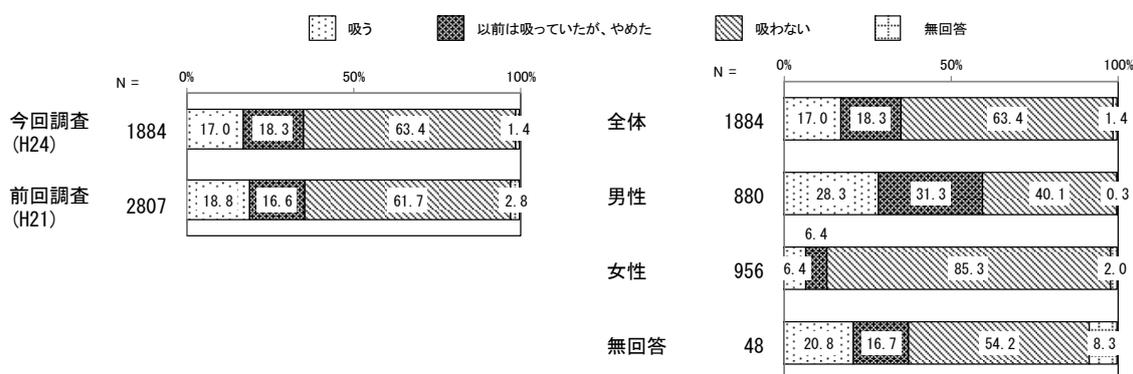
問19 あなたは、たばこを吸いますか。

あてはまる番号1つに○印をつけ、( )の中もご記入ください。

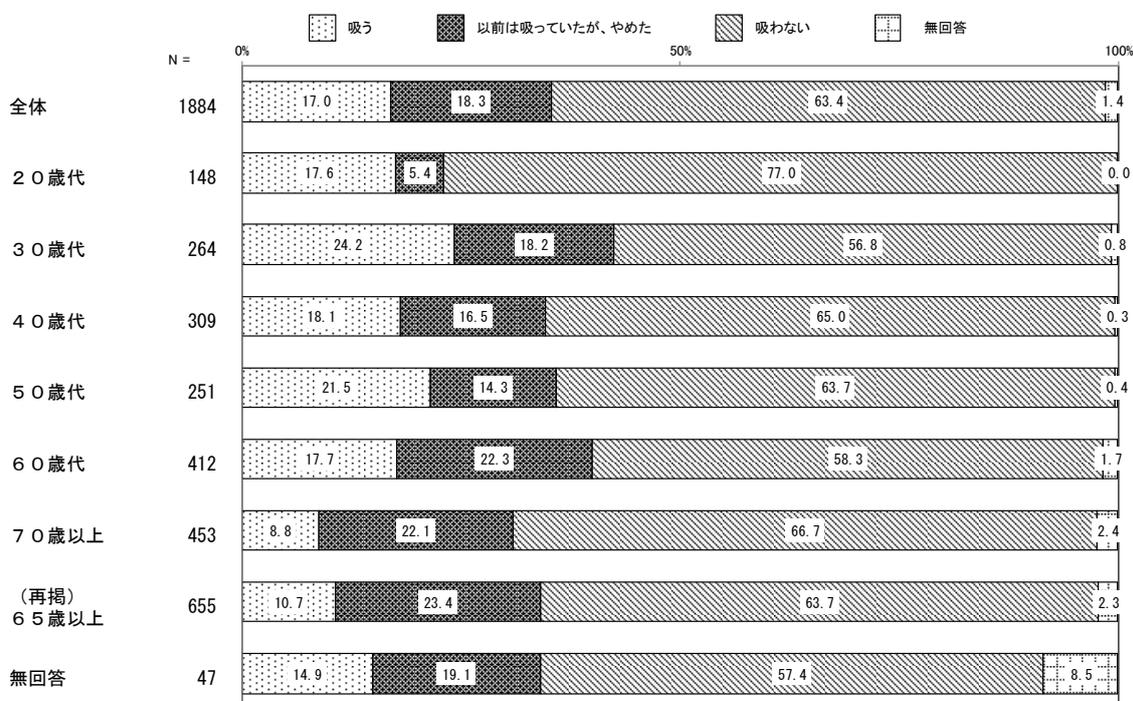
1 吸う→1日約( )本, 喫煙年数( )年

2 以前は吸っていたが、やめた→( )年前にやめた 3 吸わない

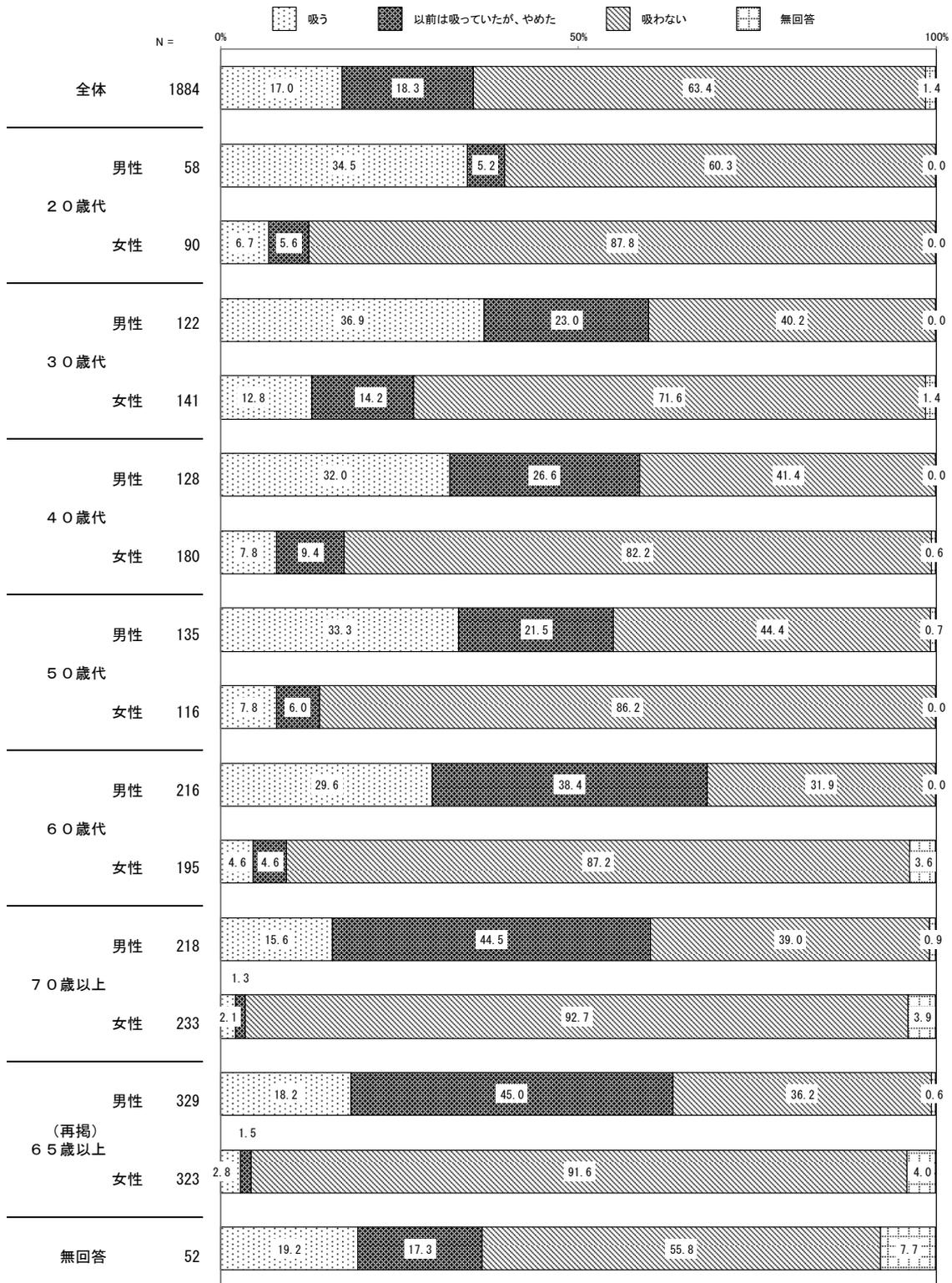
- ・喫煙状況について、たばこを「吸う」人は全体の17.0%で、前回調査の18.8%よりやや減少している。また、「以前は吸っていたがやめた」人は全体の18.3%となっており、前回調査の16.6%よりやや増加している。
- ・性別でみると、現在喫煙しているのは男性28.3%に対し女性6.4%と、男性の方が21.9ポイント高くなっている。



- ・年代別でみると、現在喫煙しているのは30歳代が24.2%と最も高く、70歳以上が8.8%と最も低くなっている。

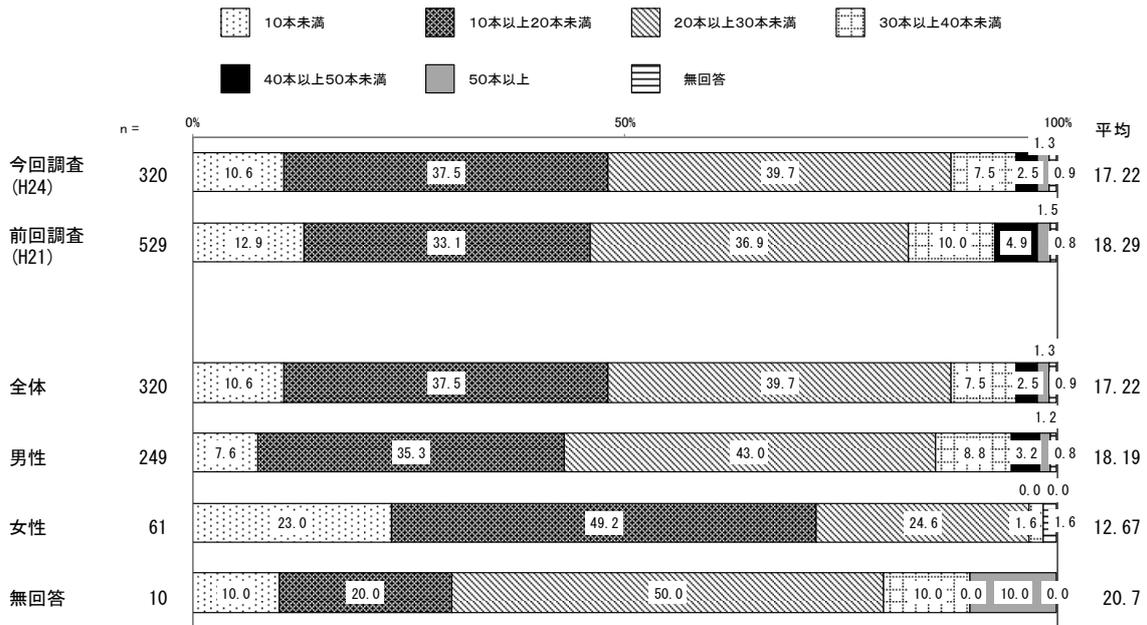


・性年代別でみると、たばこを「吸う」人は男性 30 歳代が 36.9% と他の性年代の中で最も高かった。女性については 30 歳代の「吸う」人（12.8%）の割合が最も高くなっている。

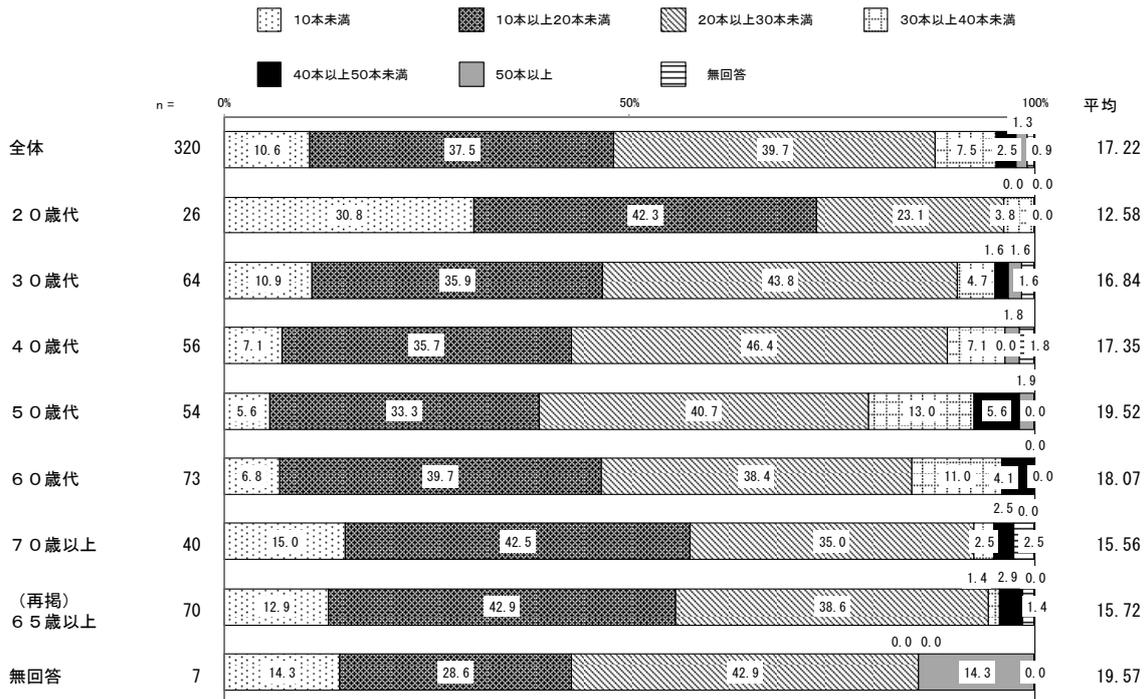


## 喫煙本数

- ・喫煙者の1日あたりの喫煙本数の平均は、全体で17.22本と前回調査の18.29本と比べ約1本減っている。
- ・喫煙者の1日あたりの喫煙本数は、全体で「20本以上30本未満」(39.7%)が最も高く、「10本以上20本未満」(37.5%)が続いている。性別では、男性が1日平均18.19本数であるのに対し、女性は平均12.67本と男性の方が5.52本多くなっている。

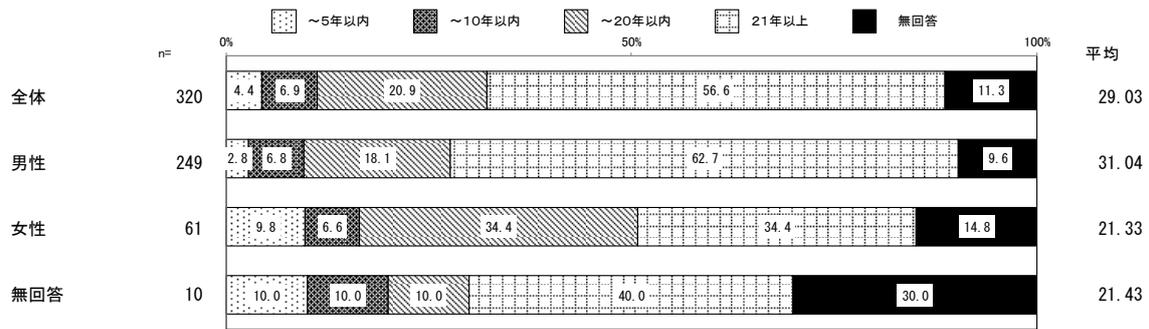


- ・年代別でみると、20歳代から50歳代にかけては年代が上がるにつれて1日の喫煙本数が増えており、50歳代から70歳以上では減少している。

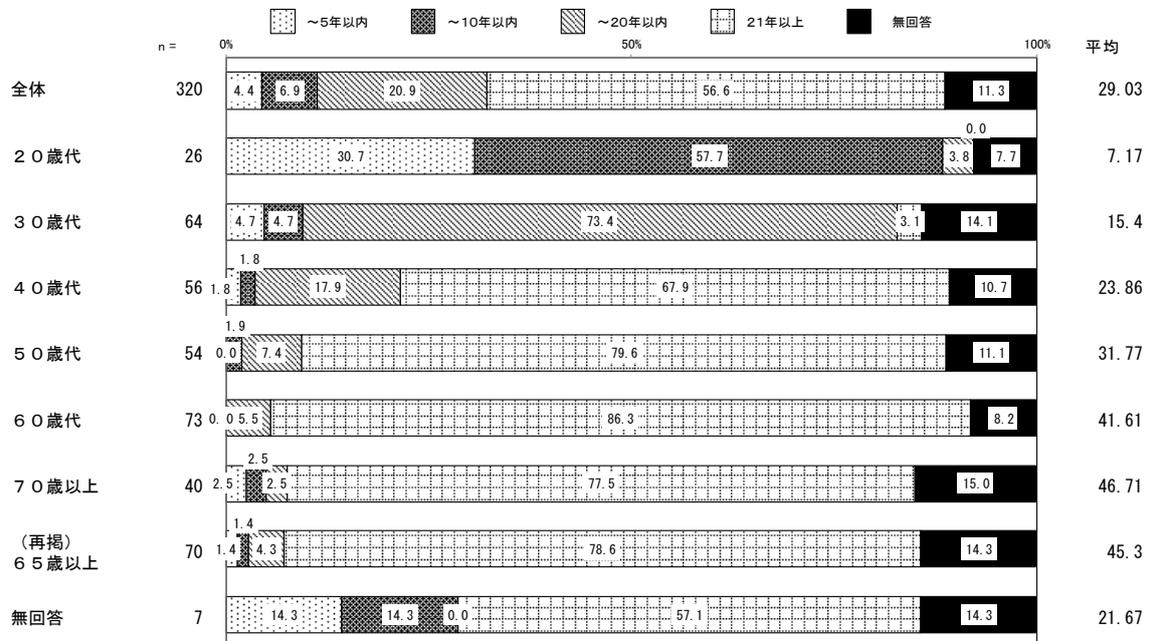


## 喫煙年数

- ・喫煙者の喫煙年数は平均 29.3 年となっており、全体の半数以上が「21 年以上」と回答している。性別では、男性の平均 31.04 年に対し、女性は 21.33 年と男性の方が平均約 10 年長い。

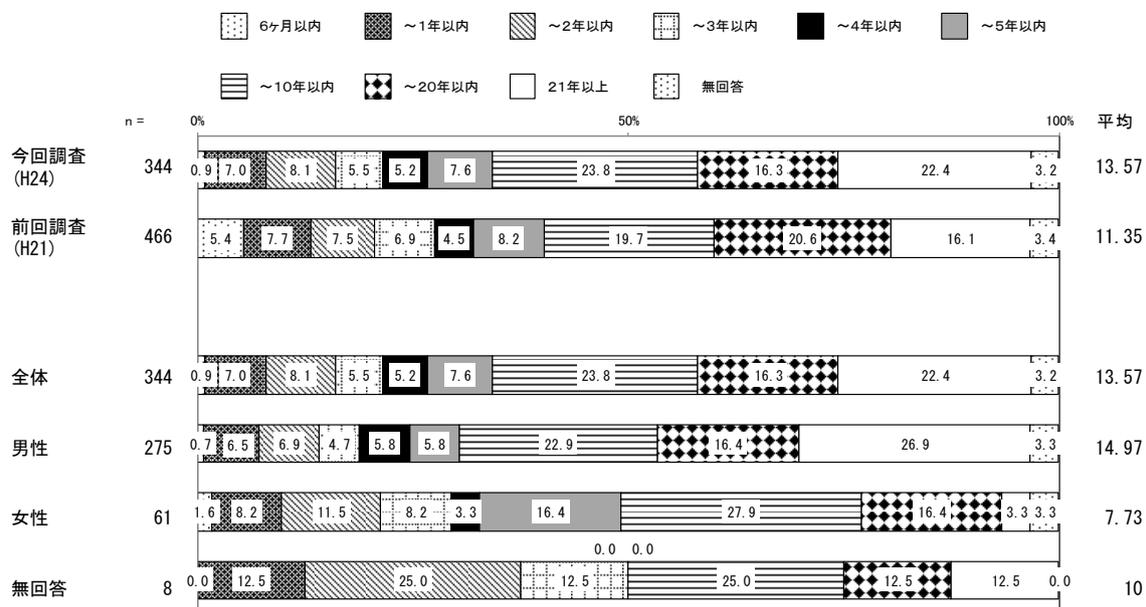


- ・年代別でみると、年代が高くなるにつれて各年代の平均喫煙年数も長くなっているが、50 歳代以上でも 20 年以内の喫煙開始が 10%程度見られる。



## 禁煙期間

- ・たばこをやめた人の禁煙期間は全体で平均 13.57 年となっている。
- ・全体で「5 年～10 年以内」が 23.8% で最も高くなっている。男性（平均 14.97 年）の方が女性（平均 7.73 年）よりも平均の禁煙期間が 7.24 年長い。



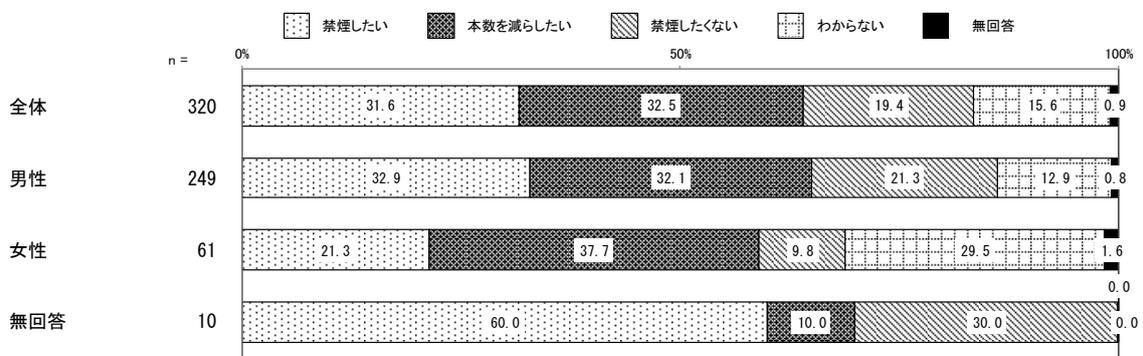
## 27 禁煙の意向

<問19で「1」と回答した方におたずねします。>

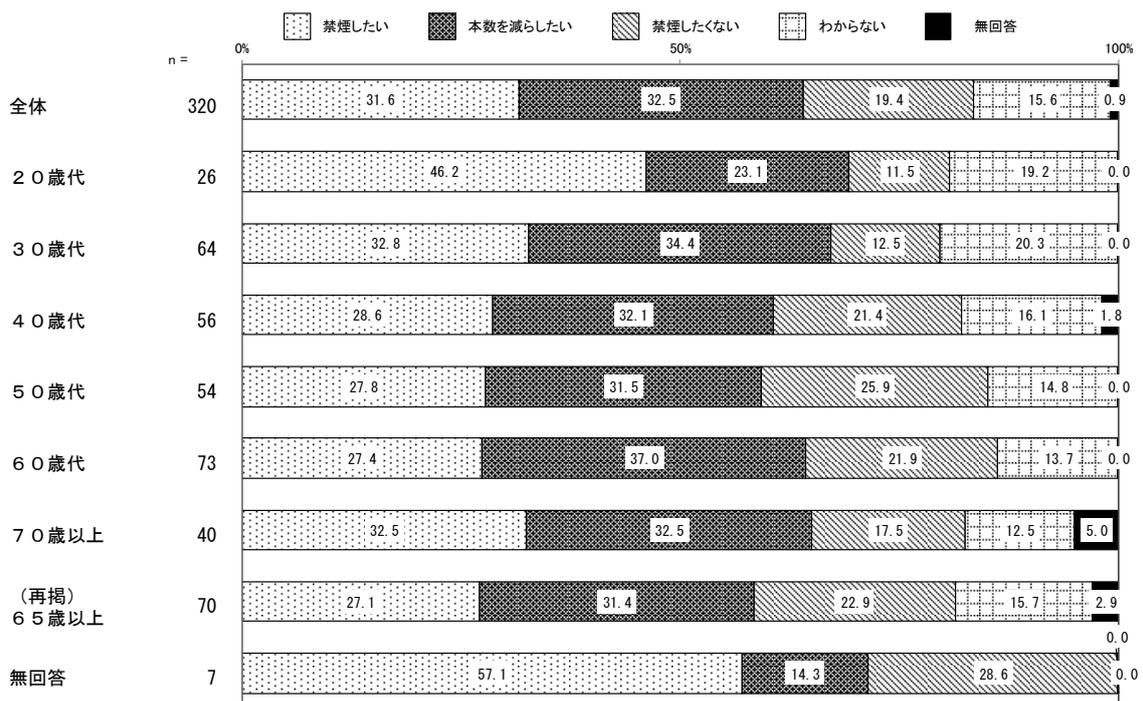
問19-1 あなたは禁煙したいと思いますか。(○印は1つ)

1 禁煙したい 2 本数を減らしたい 3 禁煙したくない 4 わからない

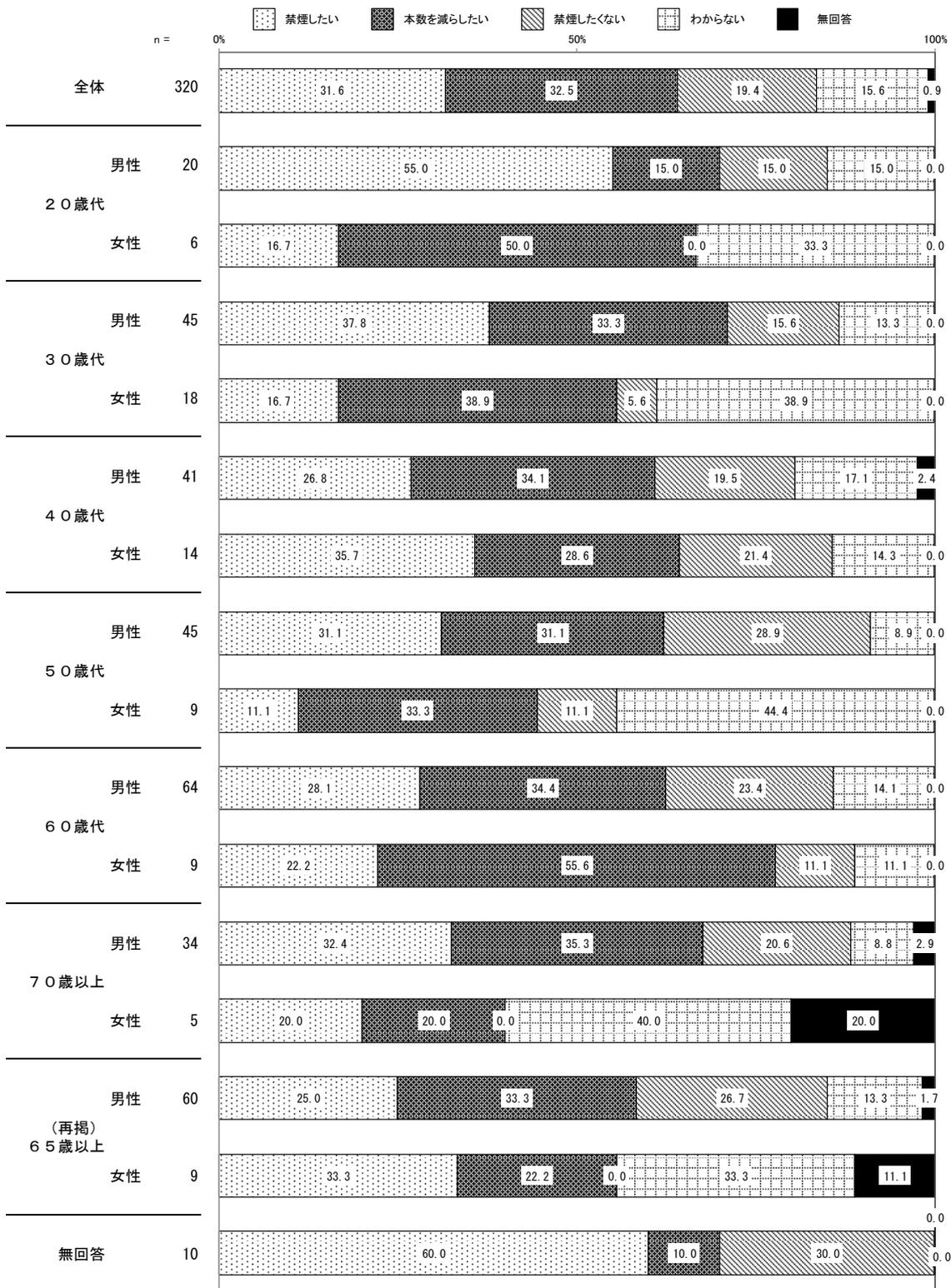
- ・喫煙者の禁煙意向について、全体の約3分の1が「禁煙したい」と回答しており、「本数を減らしたい」もほぼ同率であった。また「禁煙したくない」は2割弱であった。
- ・性別でみると、「禁煙したい」人は男性（32.9%）が女性（21.3%）に比べて11.6ポイント高い。一方、「禁煙したくない」人についても男性（21.3%）が女性（9.8%）よりも11.5ポイント高くなっている。



- ・年代別では、「禁煙したい」人は、20歳代が46.2%で最も高くなっている。「禁煙したくない」人は50歳代が25.9%で最も高い。



・性年代別でみると、男性の20歳代（55.0%）が他の性年代で最も高く、2人に1人以上が「禁煙したい」と回答している。これに対して「禁煙したくない」人は男性50歳代で28.9%となっており、他の性年代と比べ最も高くなっている。

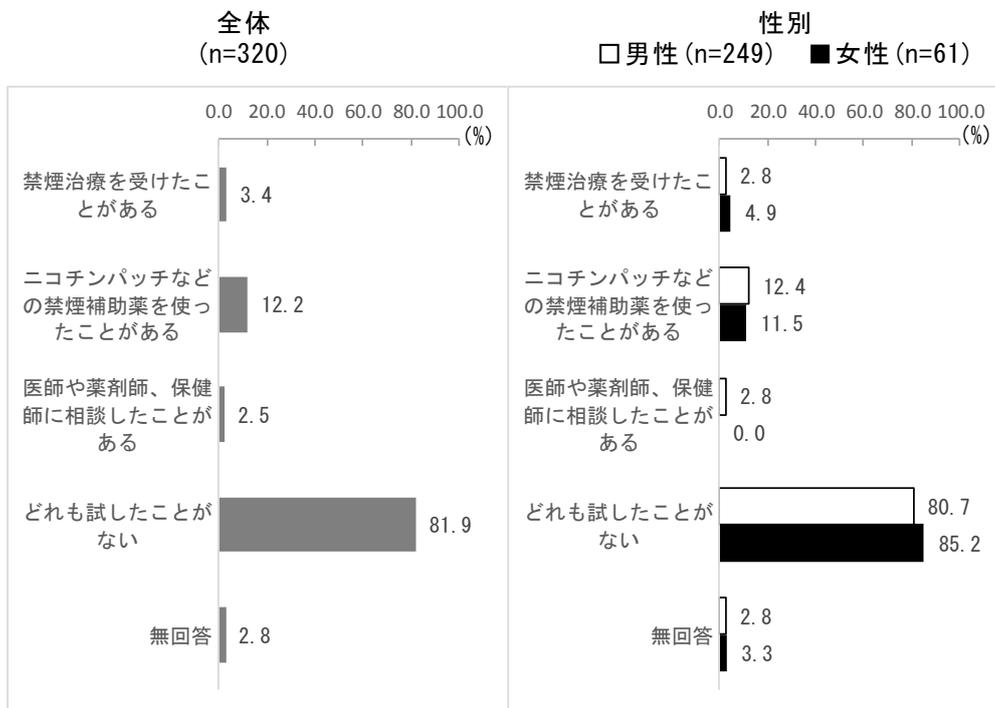


## 28 禁煙の方法

問19-2 あなたはこれまでに禁煙しようとして以下のことを試したことがありますか。  
(複数回答可)

- 1 禁煙治療を受けたことがある 2 ニコチンパッチなどの禁煙補助薬を使ったことがある  
3 医師や薬剤師、保健師に相談したことがある 4 どれも試したことがない

- ・禁煙のために試したことがあるものについて、全体の8割が「どれも試したことがない」と回答しており、男女間で大きな差は見られなかった。



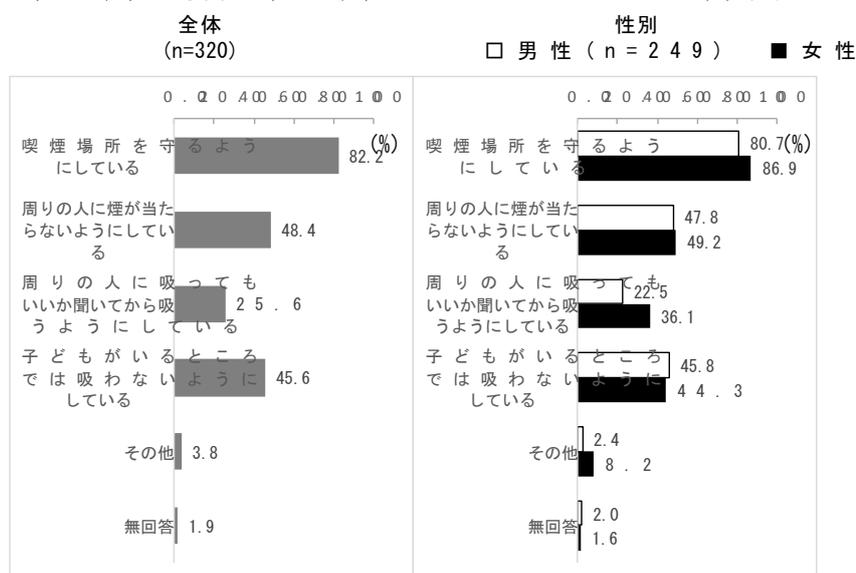
## 29 喫煙時の周囲への配慮の状況

問 19-3 あなたはたばこを吸うとき、周りの人への配慮をしていますか。

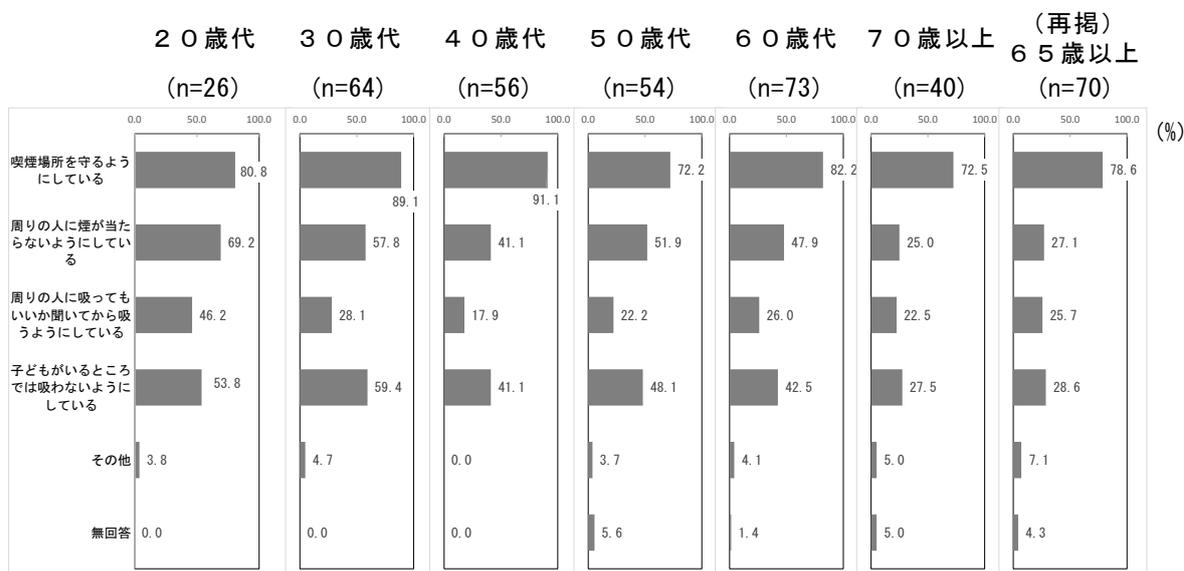
(複数回答可)

- 1 喫煙場所を守るようにしている 2 周りの人に煙が当たらないようにしている  
 3 たばこを吸うときは、周りの人に吸ってもいいか聞いてから吸うようにしている  
 4 子どもがいるところでは吸わないようにしている 5 その他

- ・たばこを吸うときの周りの人への配慮について、全体の8割以上が「喫煙場所を守るようにしている」と回答しており、「周りの人に煙が当たらないようにしている」(48.4%)「子どもがいるところでは吸わないようにしている」(45.6%)が続いている。性別では「周りの人に吸ってもいいか聞いてから吸うようにしている」で女性(36.1%)が男性(22.5%)に比べて13.6ポイント高くなっている。



- ・年代別でみると、30歳代と40歳代では「喫煙場所を守るようにしている」人が9割を占めている。また20歳代では、「周りの人に煙が当たらないようにしている」、「周りの人に吸ってもいいか聞いてから吸うようにしている」が他の年代に比べ高い。



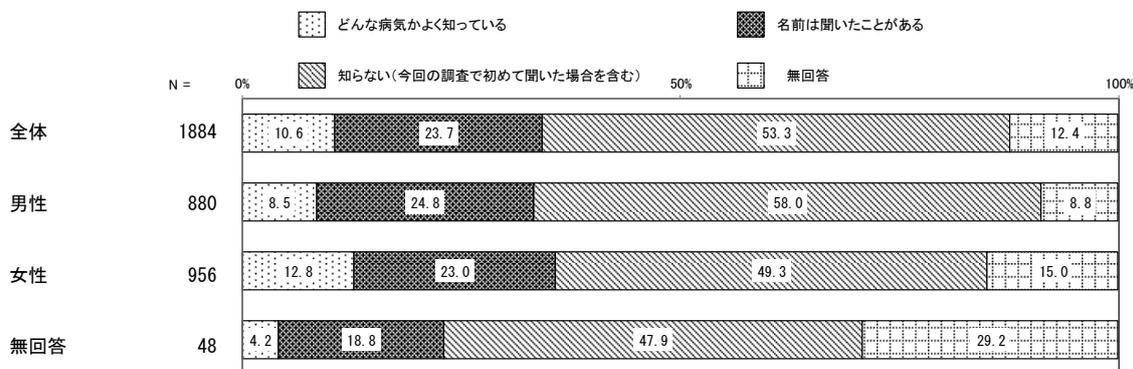
### 30 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度

問20 COPD（慢性閉塞性肺疾患）とは、主として長期の喫煙によってもたらされる肺の炎症性疾患で、主に咳・痰・息切れなどの症状があり、ゆるやかに呼吸障害が進行する、かつて、「肺気腫」、「慢性気管支炎」と称された疾患です。

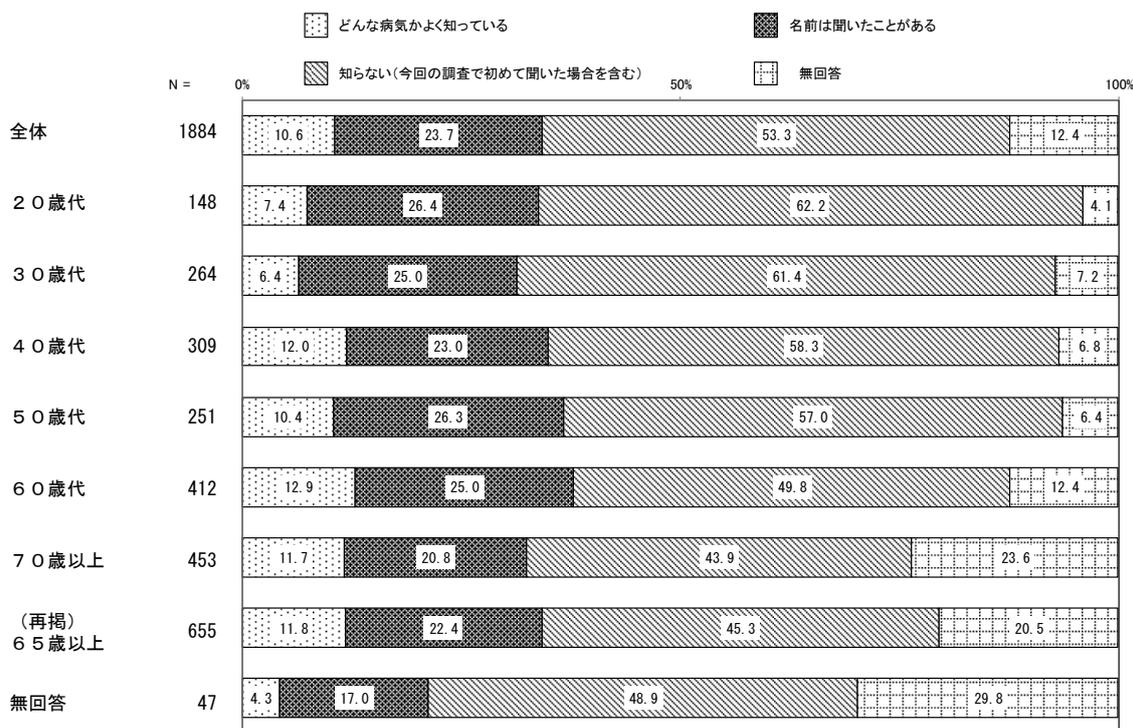
あなたはこの病気を知っていますか。（○印は1つ）

1 どんな病気がよく知っている 2 名前は聞いたことがある  
3 知らない（今回の調査で初めて聞いた場合を含む）

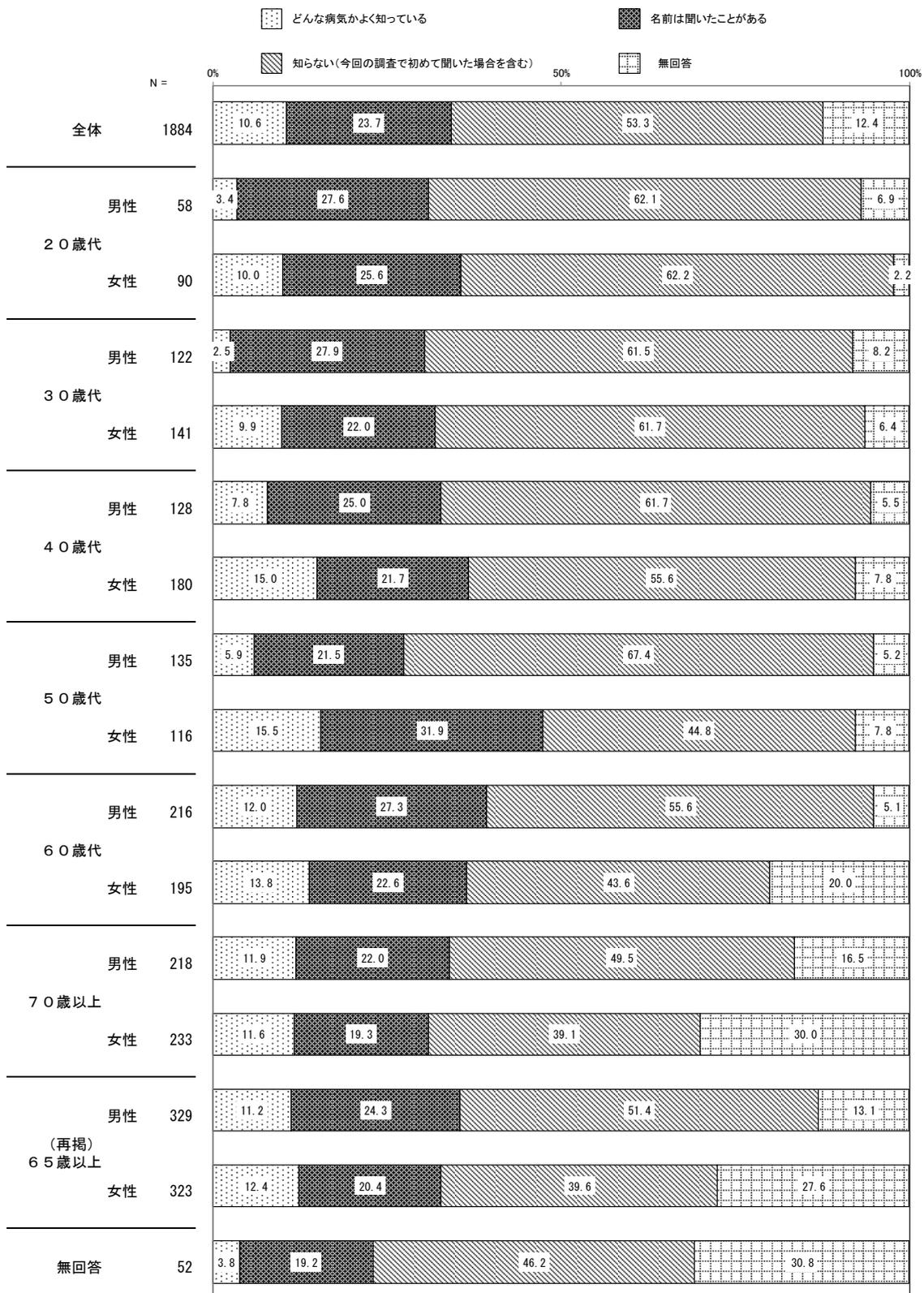
- ・ COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度について、「どんな病気がよく知っている」のは10.6%で「名前は聞いたことがある」（23.7%）を合わせると、34.3%と約3人に1人が『認知している』という結果になった。
- ・ 性別でみると、COPDを『認知している』割合は男性が33.3%、女性が35.8%であった。



- ・ 年代別でみると、『認知している』割合は、60歳代が37.9%で最も高かった。



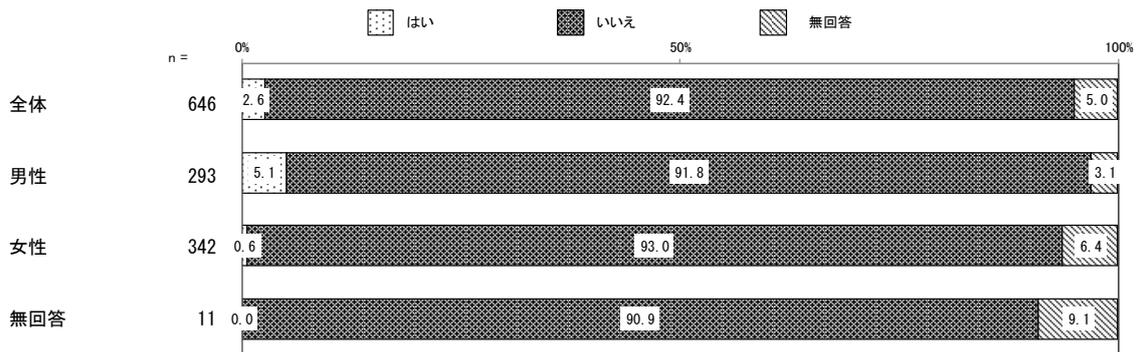
- ・性年代別でみると男性 50 歳代は『認知している』割合が 27.4%と、他の性年代と比べて最も認知度が低いのに対し、同年代の女性で『認知している』割合は約 5 割と他の性年代と比べて最も認知度が高い。



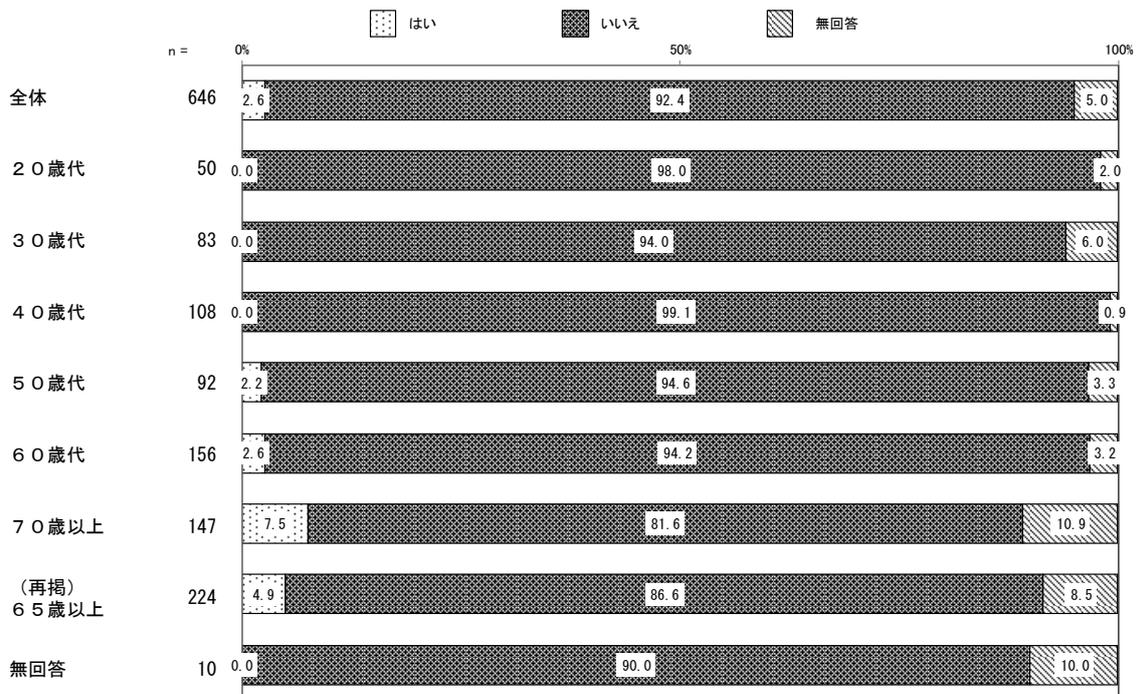
### 31 COPDの罹患経験

<問20で「1」または「2」と回答した方におたずねします。>  
 問20-1 あなたはCOPD（慢性閉塞性肺疾患）と診断されたことがありますか。  
 1 はい 2 いいえ

・COPDを『認知している』人のうち、実際にCOPDであるとの診断された経験がある人は、全体で2.6%であった。性別でみると、男性は5.1%に対し女性は0.6%と、男性の方が4.5ポイント高い結果だった。



・年代別でみると、50歳代では2.2%、70歳以上では7.5%と年代が高くなるにつれてCOPDと診断されたことがある人の割合が高くなっている。

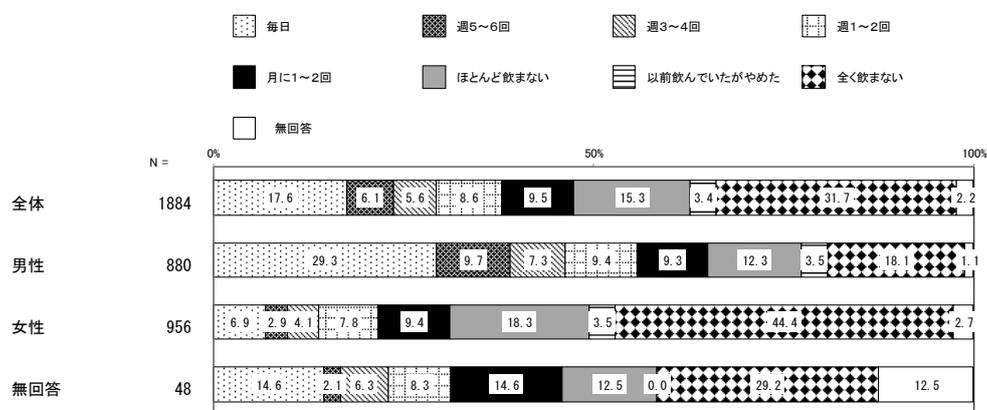


## 32 飲酒頻度

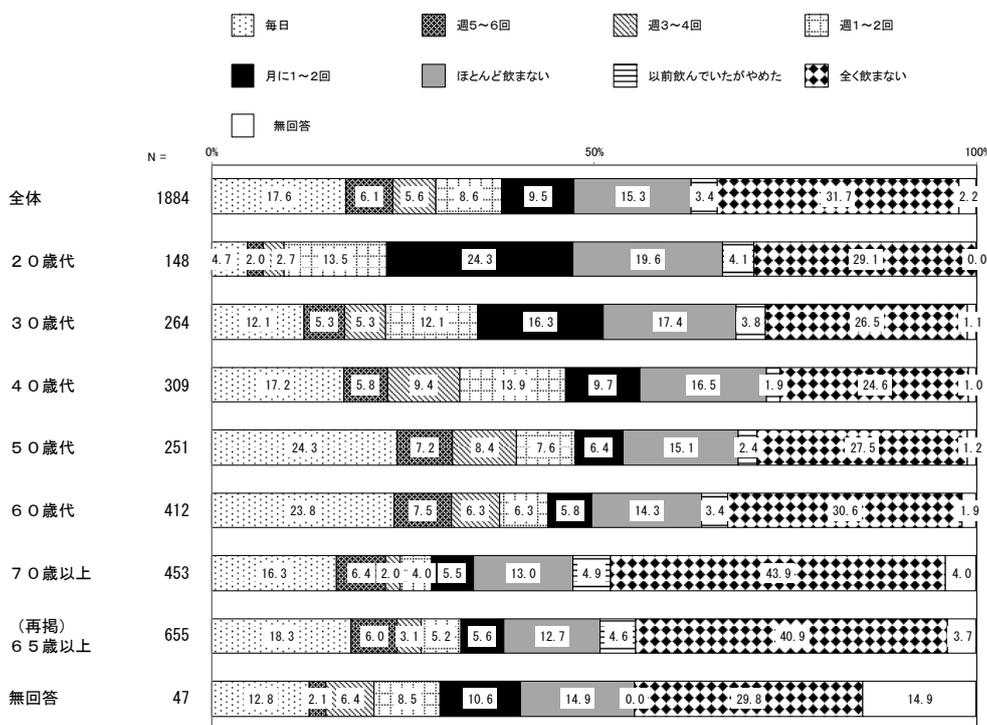
### 問 2 1 あなたは、お酒をどのくらいの割合で飲みますか。(○印は1つ)

- 1 毎日 2 週5～6回 3 週3～4回 4 週1～2回 5 月に1～2回  
 6 ほとんど飲まない 7 以前飲んでいたがやめた 8 全く飲まない

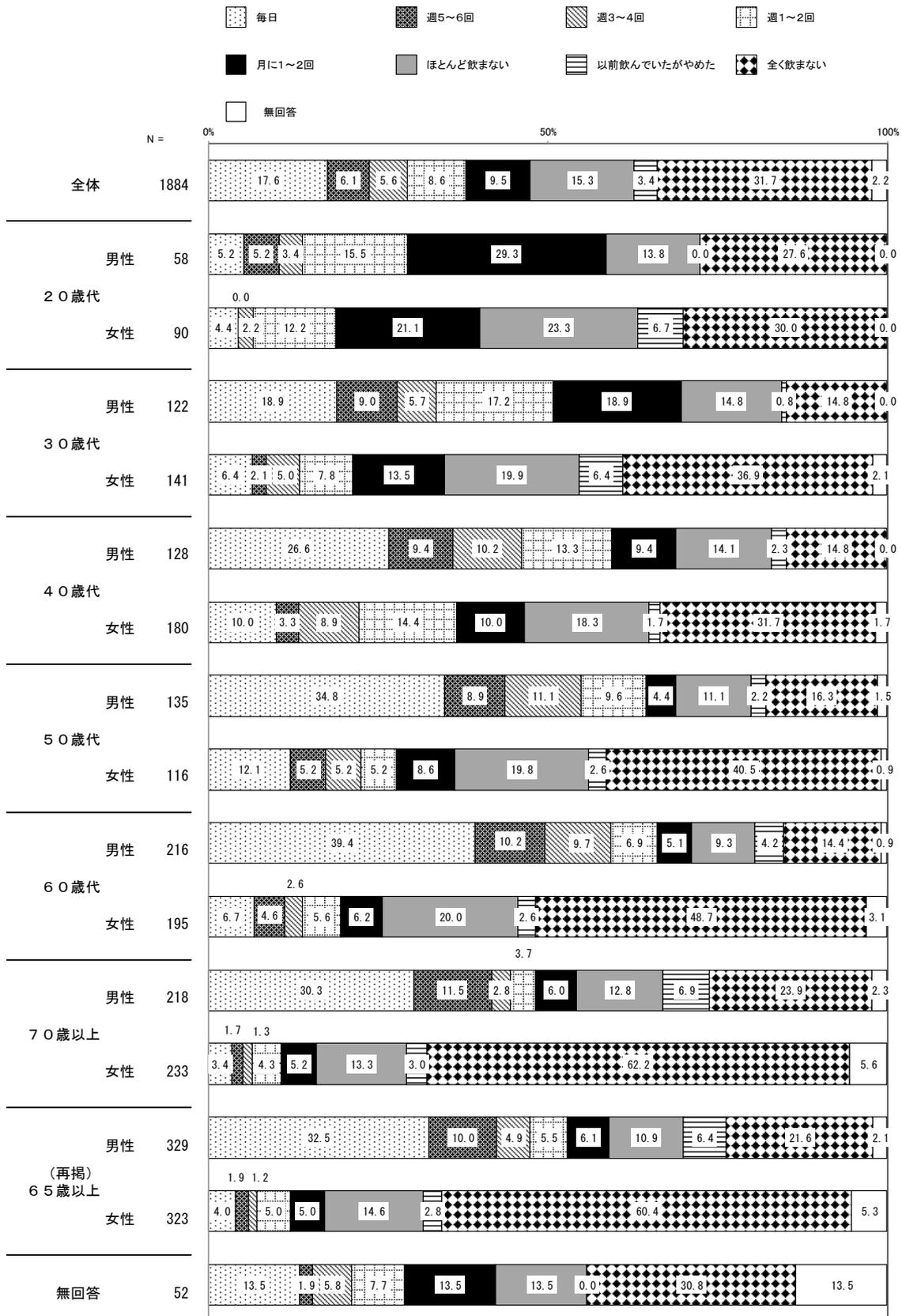
- ・飲酒の状況について、「全く飲まない」人が31.7%で最も高く、これに「月に1～2回」「ほとんど飲まない」「以前飲んでいたがやめた」を合わせた『飲酒の習慣がない』と判断される人は59.9%を占める。一方、『週1回以上』の飲酒の習慣がある人の割合は合わせて37.9%であった。
- ・性別でみると、男性は月に1回以上の飲酒が65.0%、「毎日」が29.3%に対し、女性は月1回以上が31.1%、「毎日」が6.9%で、「まったく飲まない」が44.4%と、男性の飲酒頻度が女性に比べて高い。



- ・年代別でみると、50歳代と60歳代については約4人に1人が「毎日」飲酒しており、20歳代の「毎日」飲酒している人は4.7%と最も低かった。



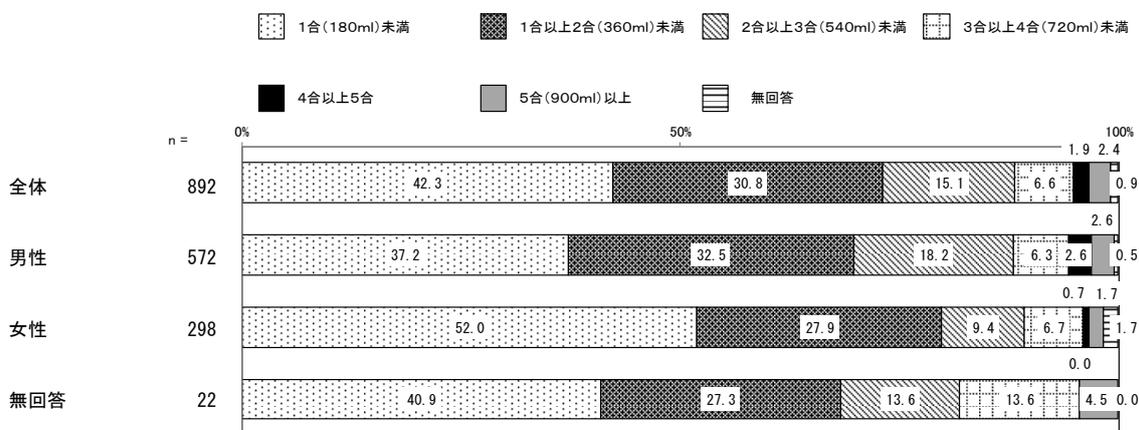
・性年代別でみると、男性 60 歳代の約 4 割が「毎日」飲酒しており、月 1 回以上飲酒している割合も最も高くなっている。女性については、月に 1 回以上飲酒している人が 40 歳代で 46.6%と他の年代と比較して最も高くなっているが、これ以降は年代が高くなるにつれて低くなっている。



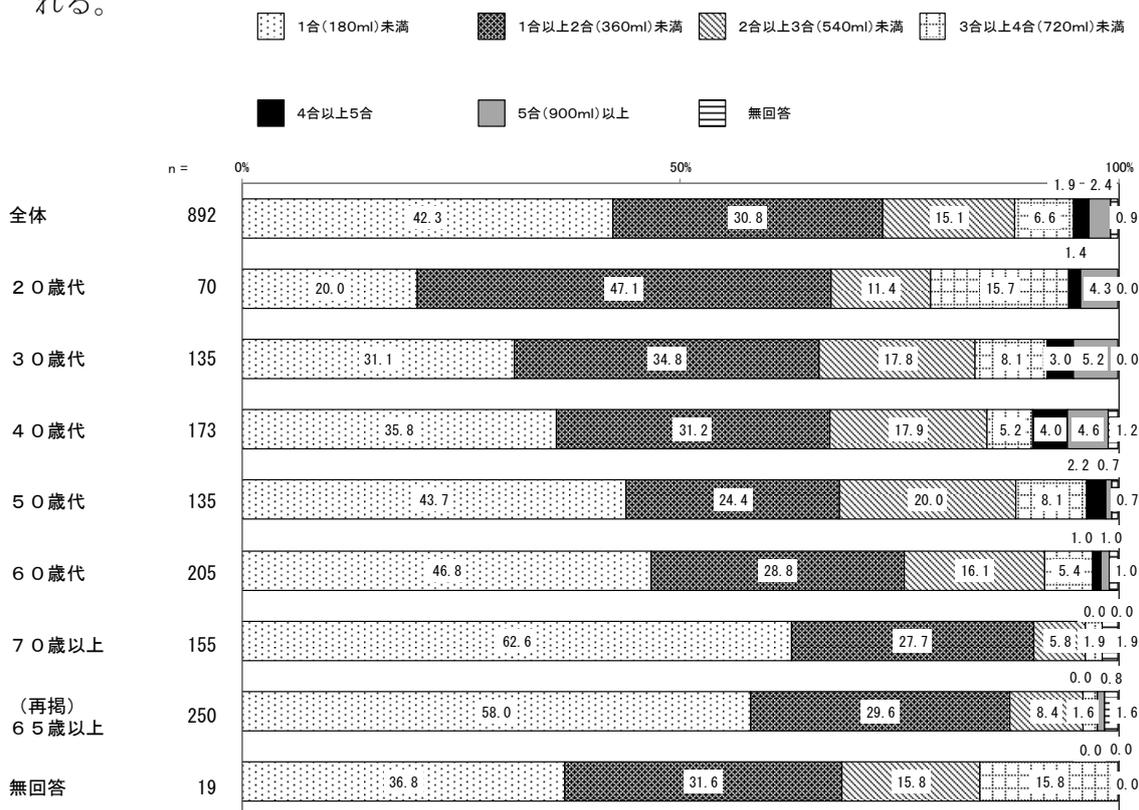
### 33 飲酒量

<問21で「1」～「5」と回答した方にお尋ねします。>  
 問21-1 お酒を飲む量はどのくらいですか。清酒に換算し、あてはまる番号1つを選んで○印をつけてください。  
 1 1合(180ml)未満 2 1合以上2合(360ml)未満 3 2合以上3合(540ml)未満  
 4 3合以上4合(720ml)未満 5 4合以上5合(900ml)未満 6 5合(900ml)以上

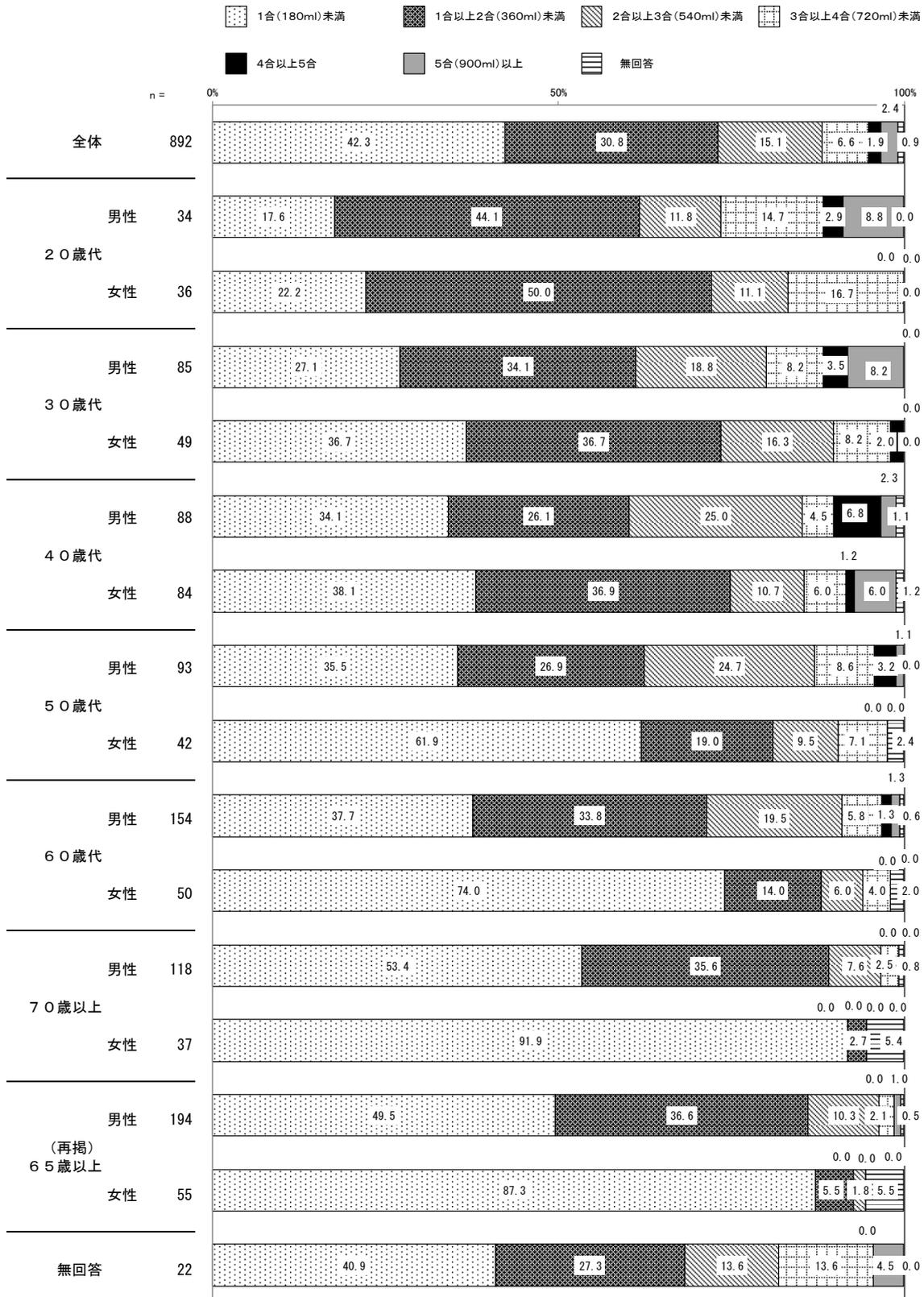
- ・1か月に1回以上飲酒する人の1日あたりの飲酒量について、日本酒換算で「1合未満」が42.3%で最も高く、次いで「1合以上2合未満」が30.8%という結果であった。
- ・性別でみると、女性については「1合未満」の人が52.0%を占めるのに対し、男性については1合以上の人が62.2%を占める。



- ・年代別にみると、年代が高くなるにつれて「1合未満」の割合が高くなる傾向がみられる。



・性年代別でみると、20歳代から40歳代にかけては男女間の飲酒量に大きな差は見られないが、「1合未満」の飲酒でみると50歳代で男性35.5%に対し女性61.9%、70歳以上では男性53.4%に対し女性91.9%と男女間の差が顕著になっている。

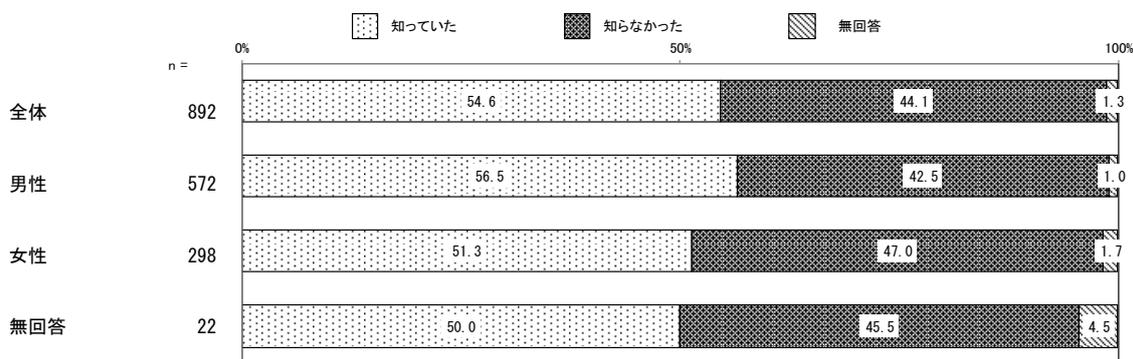


### 34 「節度ある適度な飲酒」量の認知度

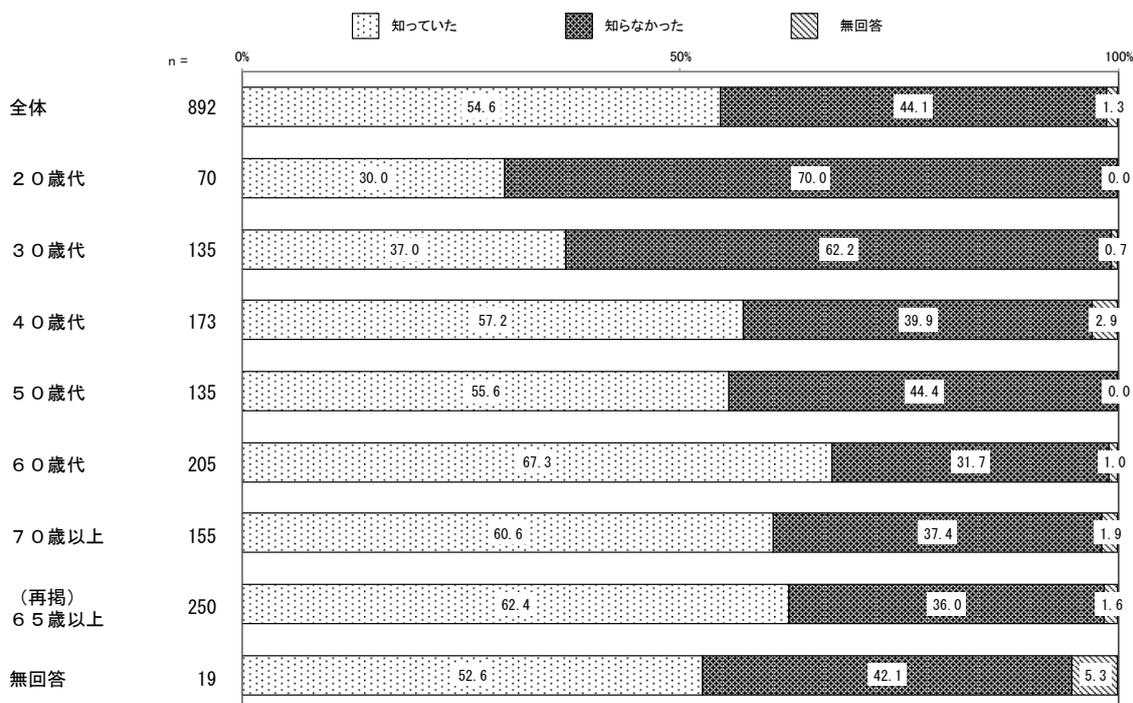
問 2 1 - 2 「節度ある適度な飲酒」として、1日平均ビール中瓶1本程度（純アルコールで約20g）とされていますが、あなたはこのことを知っていましたか。

1 知っていた 2 知らなかった

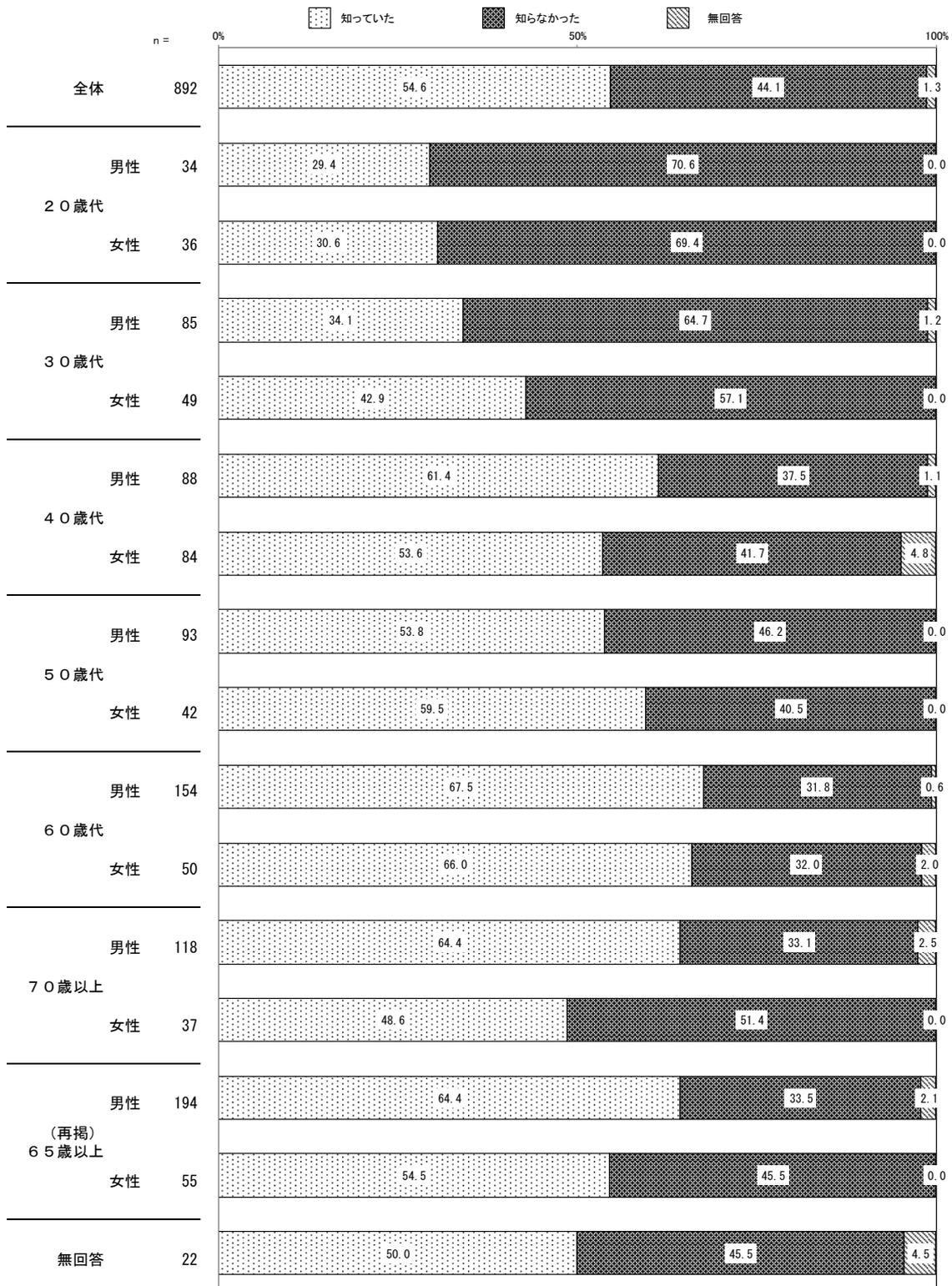
- ・節度ある飲酒量の認知度については、「知っていた」人が全体の54.6%という結果であった。
- ・性別では、男性の「知っていた」が56.5%に対し女性では51.3%となっている。



- ・年代別では、60歳代の認知率が67.3%で最も高く、20歳代が30.0%と最も低い結果であった。



・性年代別でみると、男性 70 歳以上の認知率が 64.4%に対して、女性 70 歳以上では 48.6%と、男性の方が女性より 15.8 ポイント高かった。



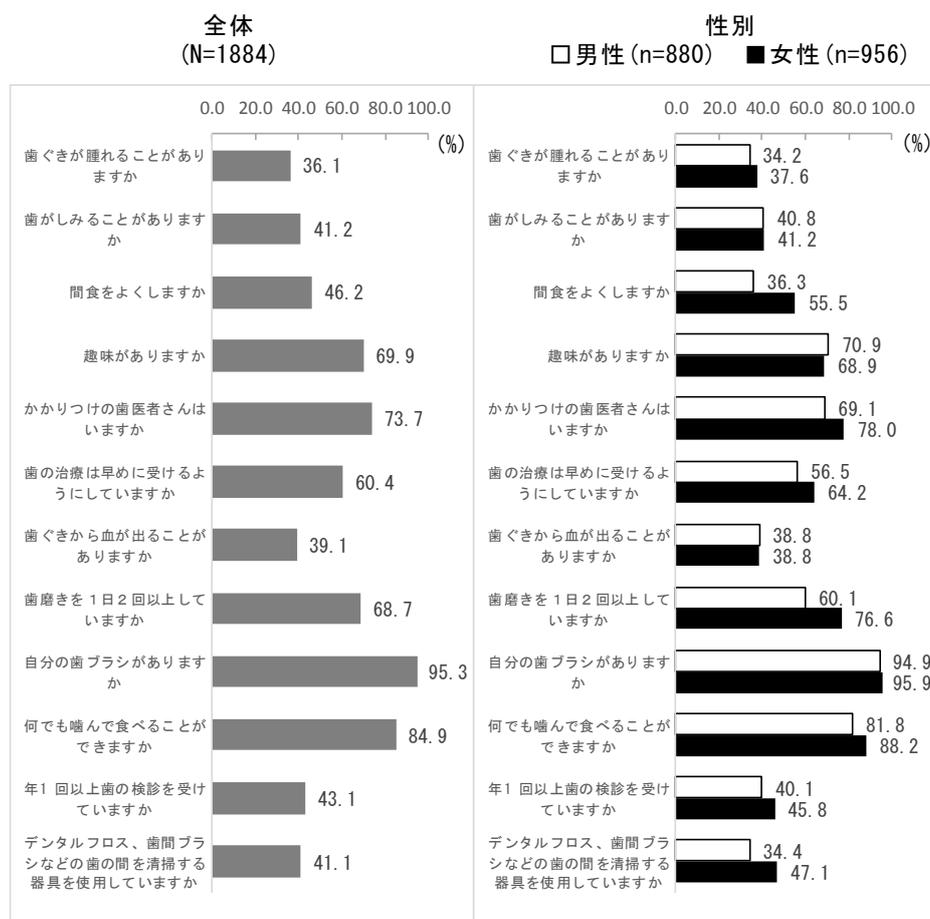
### 35 歯と口腔の症状の有無

問22 次の12項目の質問について、それぞれ「1 はい」または「2 いいえ」を選択し、その番号に○印をつけてください。

- ・歯ぐきが腫れることがありますか
- ・歯がしみることがありますか
- ・間食をよくしますか
- ・趣味がありますか
- ・かかりつけの歯医者さんはいますか
- ・歯の治療は早めに受けるようにしていますか
- ・歯ぐきから血が出ることがありますか
- ・歯磨きを1日2回以上していますか
- ・自分の歯ブラシがありますか
- ・何でも噛んで食べることができますか
- ・年1回以上歯の検診を受けていますか
- ・デンタルフロス、歯間ブラシなどの歯の間を清掃する器具を使用していますか

1 はい 2 いいえ

- ・歯と口腔の症状の有無について、全体をみると、歯と口腔の症状では「歯ぐきが腫れること」(36.1%)、「歯がしみること」(41.2%)、「歯ぐきから血が出ること」(39.1%)といずれも約4割が「はい」と回答し、男女の大きな差は見られなかった。
- ・歯の検診については「かかりつけの歯医者さんはいますか」(全体73.7%、男性69.1%、女性78.0%)、「年1回以上歯の検診を受けていますか」(全体43.1%、男性40.1%、女性45.8%)共に男性より女性の方が「はい」と回答した割合が高かった。



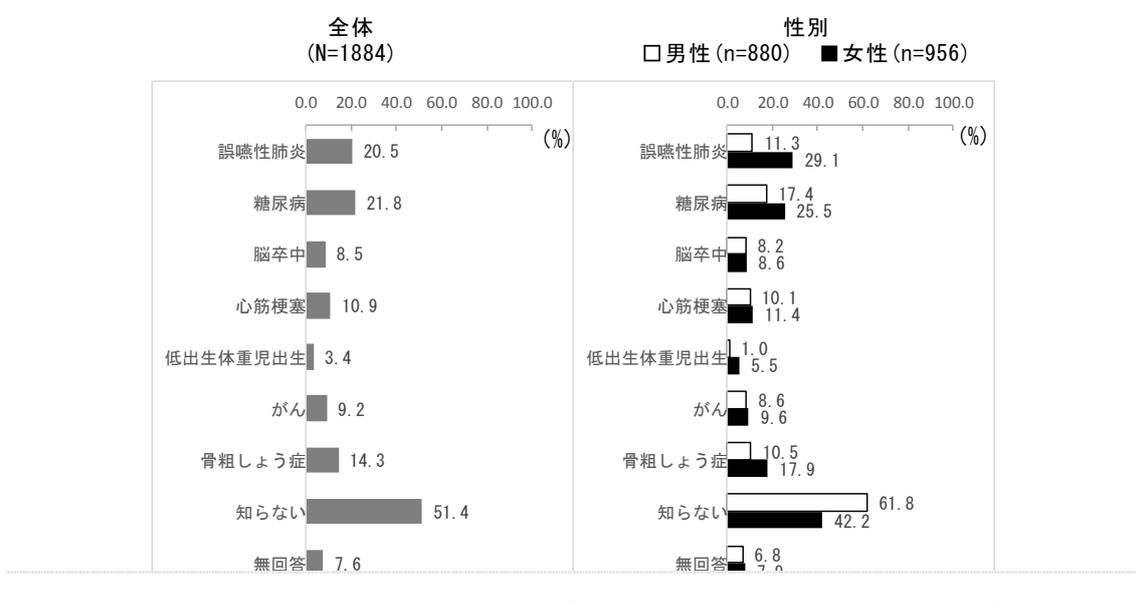
※「はい」の回答の割合

### 36 歯・口腔の健康と関連のある病気の認知度

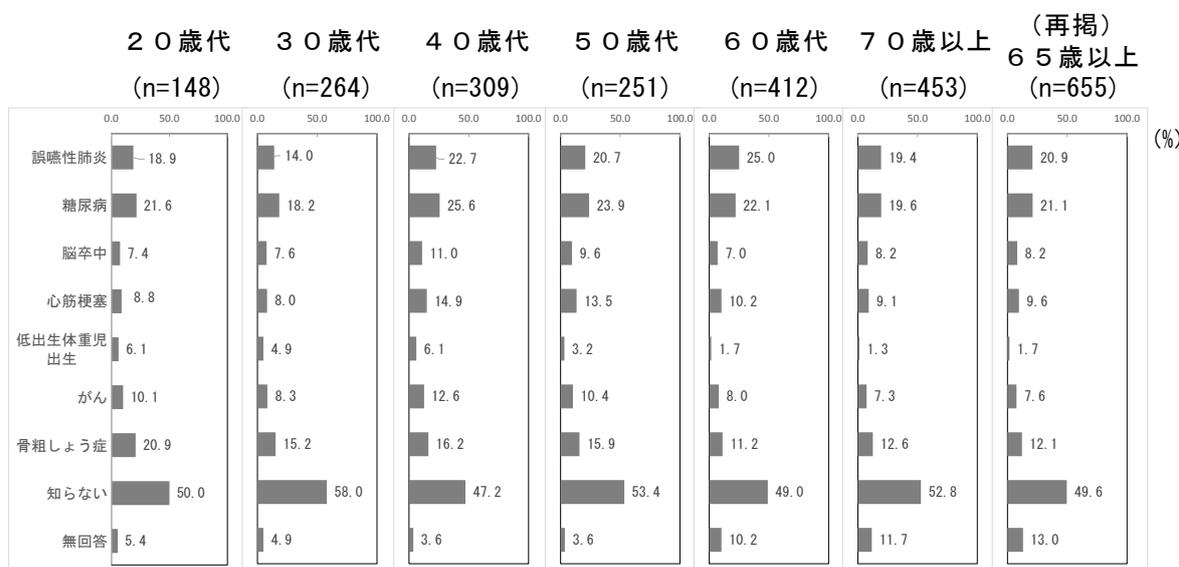
**問 2 3** 次の項目のうち歯・口腔の健康と関連があることを知っているものに○印をつけてください。(複数回答可)

1 誤嚥性肺炎 2 糖尿病 3 脳卒中 4 心筋梗塞 5 低出生体重児出生 6 がん  
7 骨粗しょう症 8 知らない

- ・ 歯・口腔の健康と病気との関連について、全体の半数以上は「知らない」としており、認知されている中では「糖尿病」(21.8%)、「誤嚥性肺炎」(20.5%)が高かった。
- ・ 性別では、挙げられたすべての病気で女性の方が認知率が高く、「知らない」の回答は男性が61.8%、女性が42.2%と男性が19.6ポイント高い。



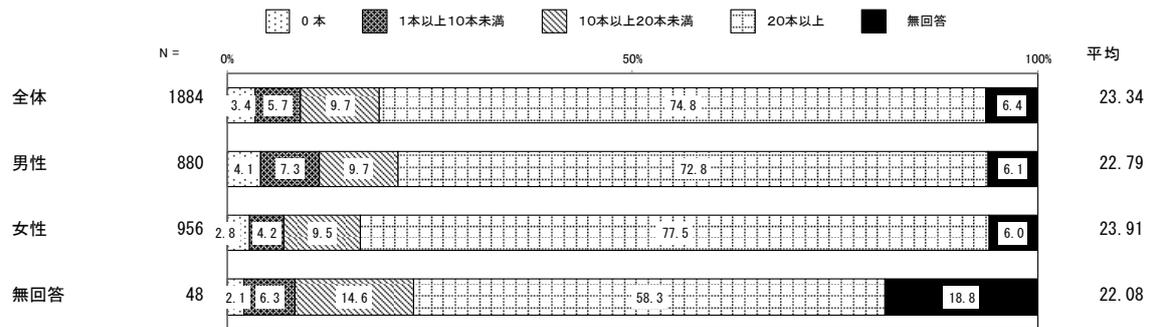
- ・ 年代別でみると、各年代で大きな差は見られなかった。



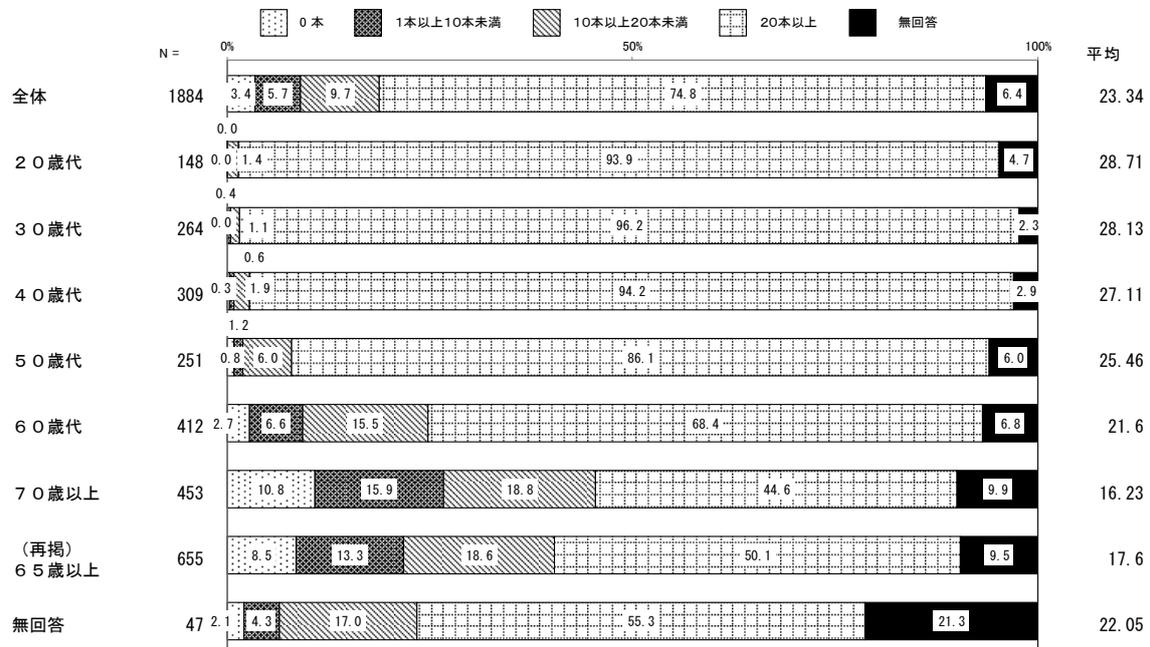
## 37 歯の本数

### 問24 ご自分の歯は何本ありますか。

- ・現在の歯の本数について全体では平均 23.34 本で、74.8%が「20 本以上」と回答しており、「0 本」は 3.4%であった。性別では、男性が平均 22.79 本、女性が平均 23.91 本となっており、女性の方が現在の歯の本数が多い結果となっている。



- ・年代別にみると、「20 本以上」は 20 歳代から 40 歳代まで 9 割以上、50 歳代でも 8 割以上であるが、60 歳代で 68.4%、70 歳以上で 44.6%と 23.8 ポイント減少している。

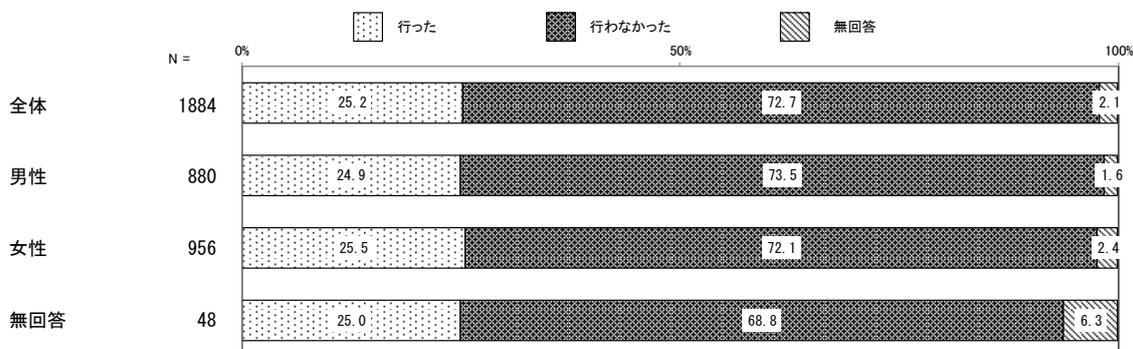


### 38 過去1年間のボランティア活動の有無

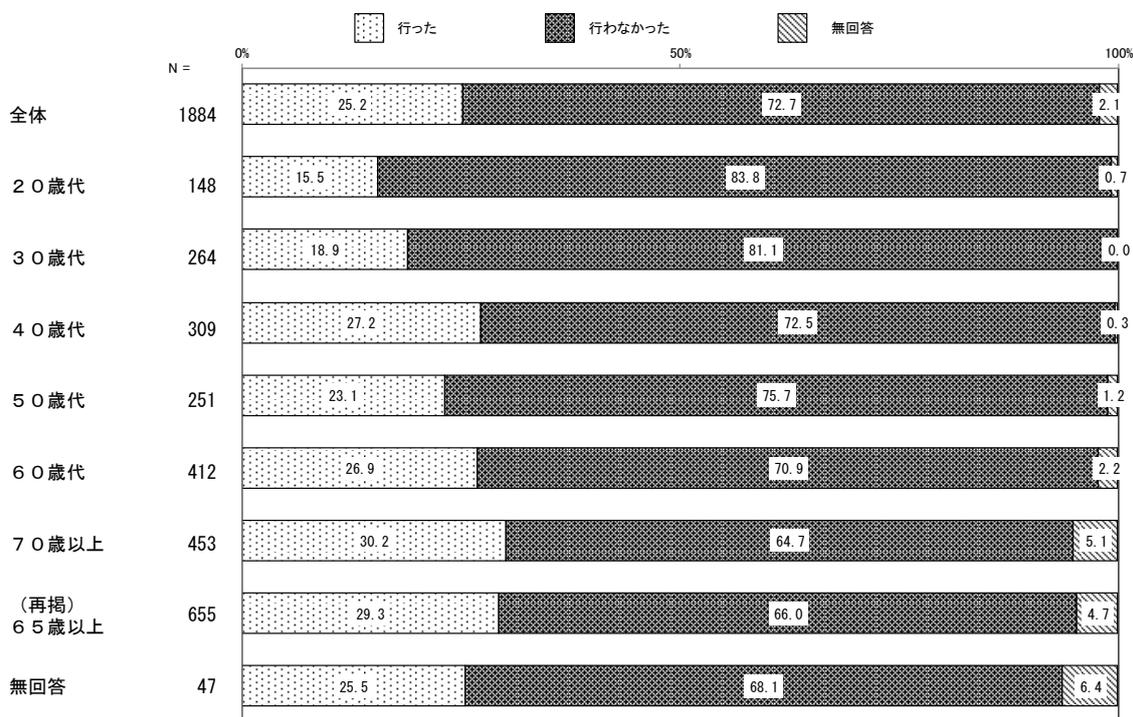
問25 あなたは、過去1年間に何らかのボランティア活動を行いましたか。

1 行った 2 行かなかった

- ・過去1年間のボランティア活動について、約4人に1人が行っており、性別では大きな違いは見られなかった。



- ・年代別でみると、70歳以上が30.2%と最も高く、20歳代が15.5%と最も低かった。



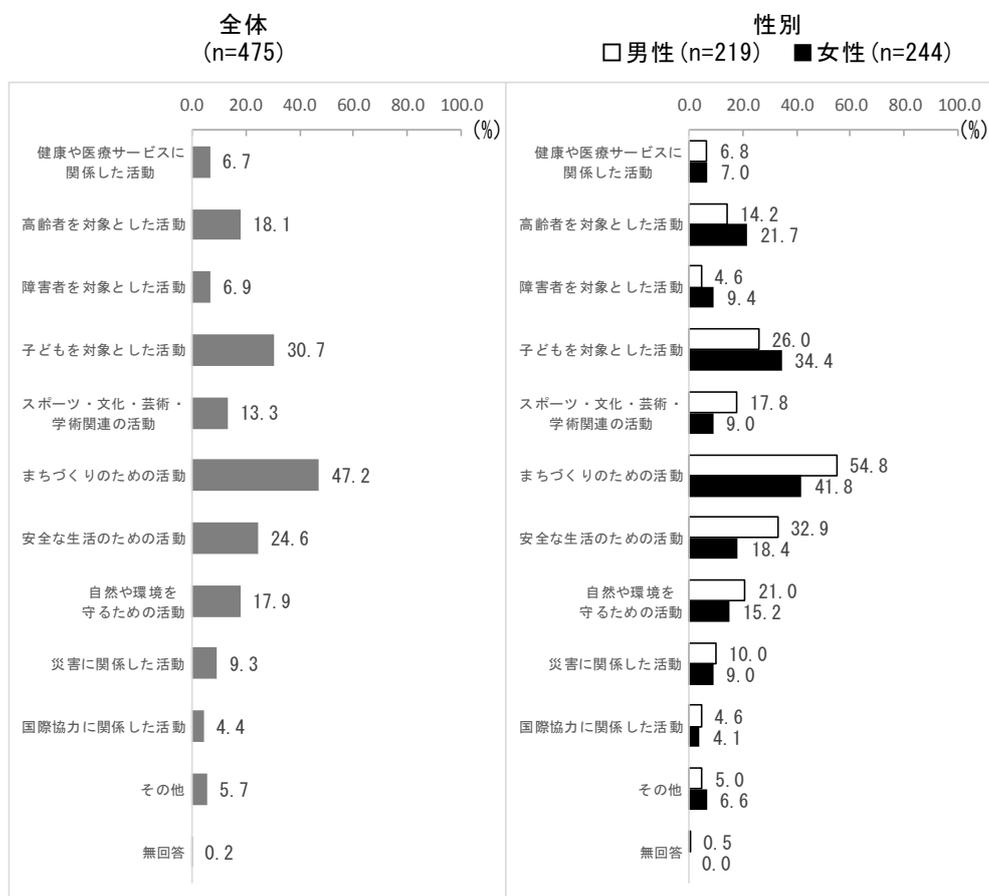
### 39 ボランティア活動の内容

＜問25で「1 行った」と回答した方におたずねします。＞

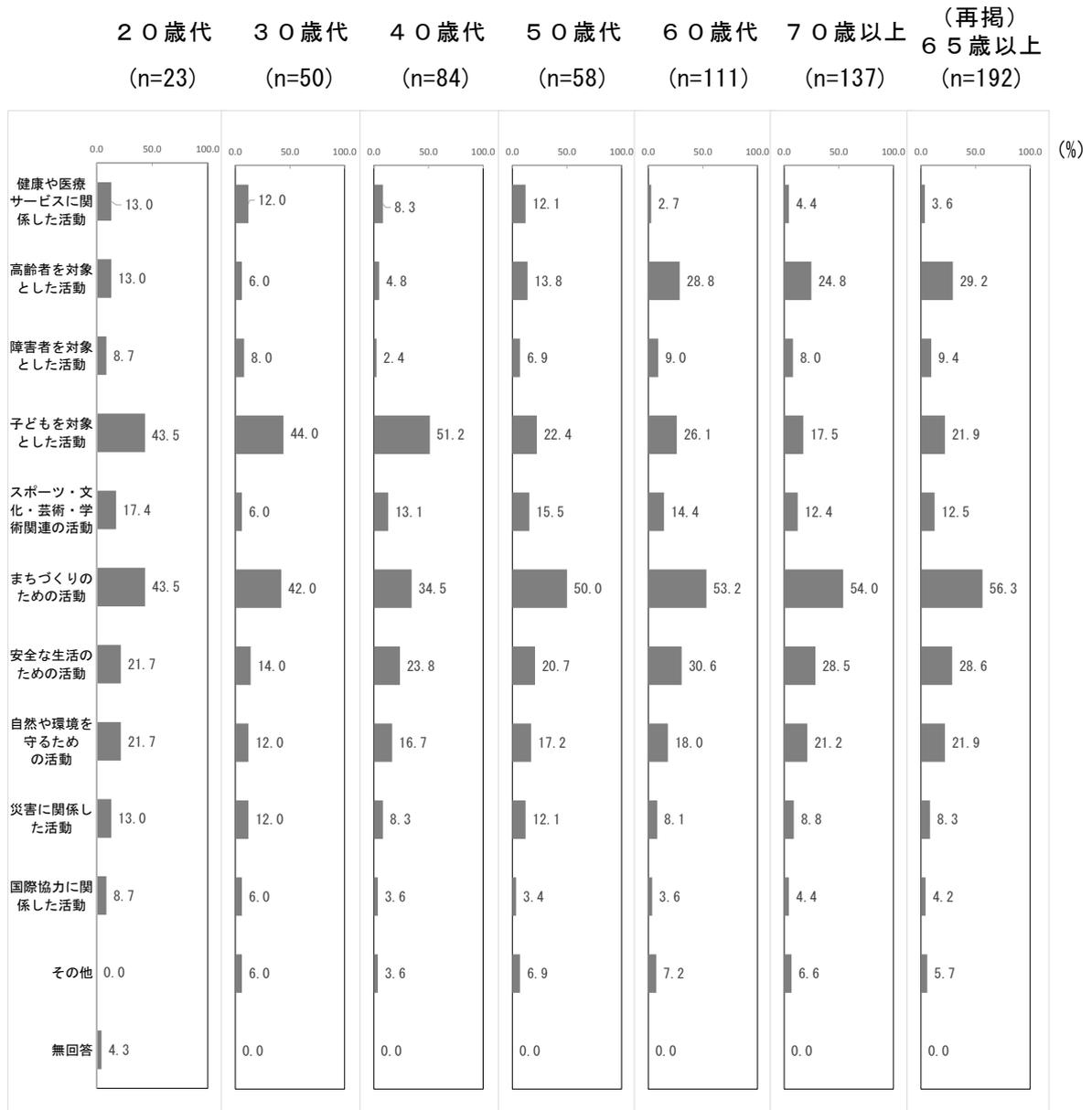
#### 問25-1 どのようなボランティア活動をしましたか。(複数回答可)

- 1 健康や医療サービスに関係した活動（献血、入院患者の話し相手、安全な食品を広めること 等）
- 2 高齢者を対象とした活動（高齢者の日常生活の手助け、高齢者とのレクリエーション 等）
- 3 障害者を対象とした活動（手話、点訳、朗読、障害者の社会参加の協力 等）
- 4 子どもを対象とした活動（子ども会の世話、子育て支援ボランティア、学校行事の手伝い 等）
- 5 スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動（スポーツを教えること、日本古来の文化を広めること、美術館ガイド、講演会・シンポジウム等の開催 等）
- 6 まちづくりのための活動（道路や公園等の清掃、花いっぱい運動、まちおこし 等）
- 7 安全な生活のための活動（防災活動、防犯活動、交通安全運動 等）
- 8 自然や環境を守るための活動  
（野鳥の観察と保護、森林や緑を守る活動、リサイクル運動、ゴミを減らす活動 等）
- 9 災害に関係した活動（災害を受けた人に食べものや着るものを送ること、炊き出し 等）
- 10 国際協力に関係した活動（海外支援協力、難民支援、日本にいる外国人への支援活動 等）
- 11 その他（人権を守るための活動、平和のための活動 等）

- ・ ボランティア活動を行った方の活動内容は、全体で「まちづくりのための活動」が47.2%で最も高く、「子どもを対象とした活動」が30.7%、「安全な生活のための活動」が24.6%と続いている。
- ・ 性別では「スポーツ・文化・芸術・学術関連の活動」、「まちづくりのための活動」「安全な生活のための活動」「自然や環境を守るための活動」は男性の方が高く、「高齢者を対象とした活動」、「障害者を対象にした活動」、「子どもを対象とした活動」は女性の方が高かった。



・年代別でみると、「子どもを対象とした活動」は20歳代から40歳代が4割以上であるのに対して、50歳以上は2割程度と低い、また「高齢者を対象とした活動」は20歳代から50歳代までは1割程度であるのに対し60歳代以上では3割程度を占める。



## 40 地域との交流の状況

問26 あなたは次のアからエの人とどの程度の交流がありますか。

あてはまる番号に1つずつ○印をつけてください。

ア あなたはご近所の方とどの程度の交流がありますか

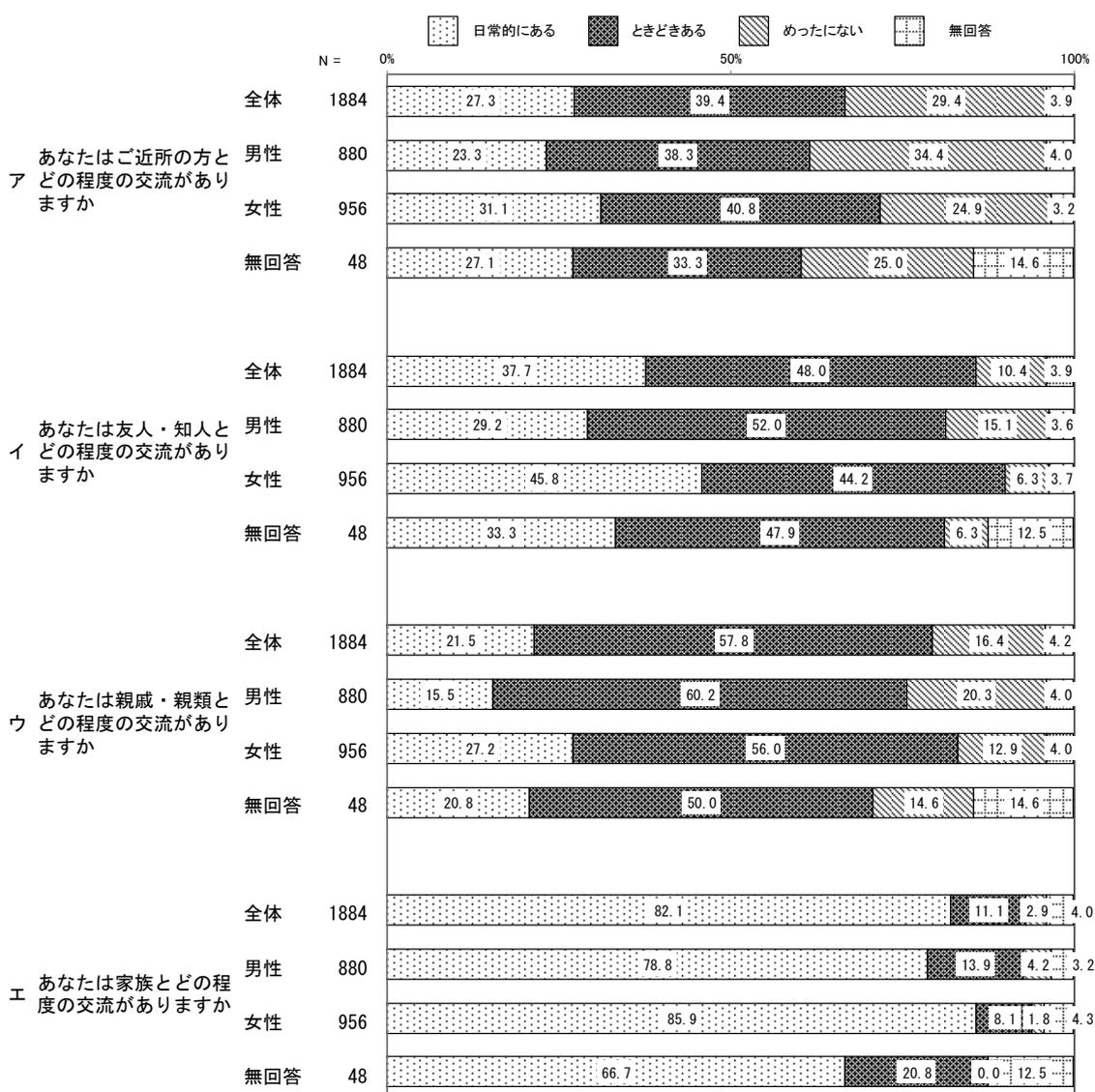
イ あなたは友人・知人とどの程度の交流がありますか

ウ あなたは親戚・親類とどの程度の交流がありますか

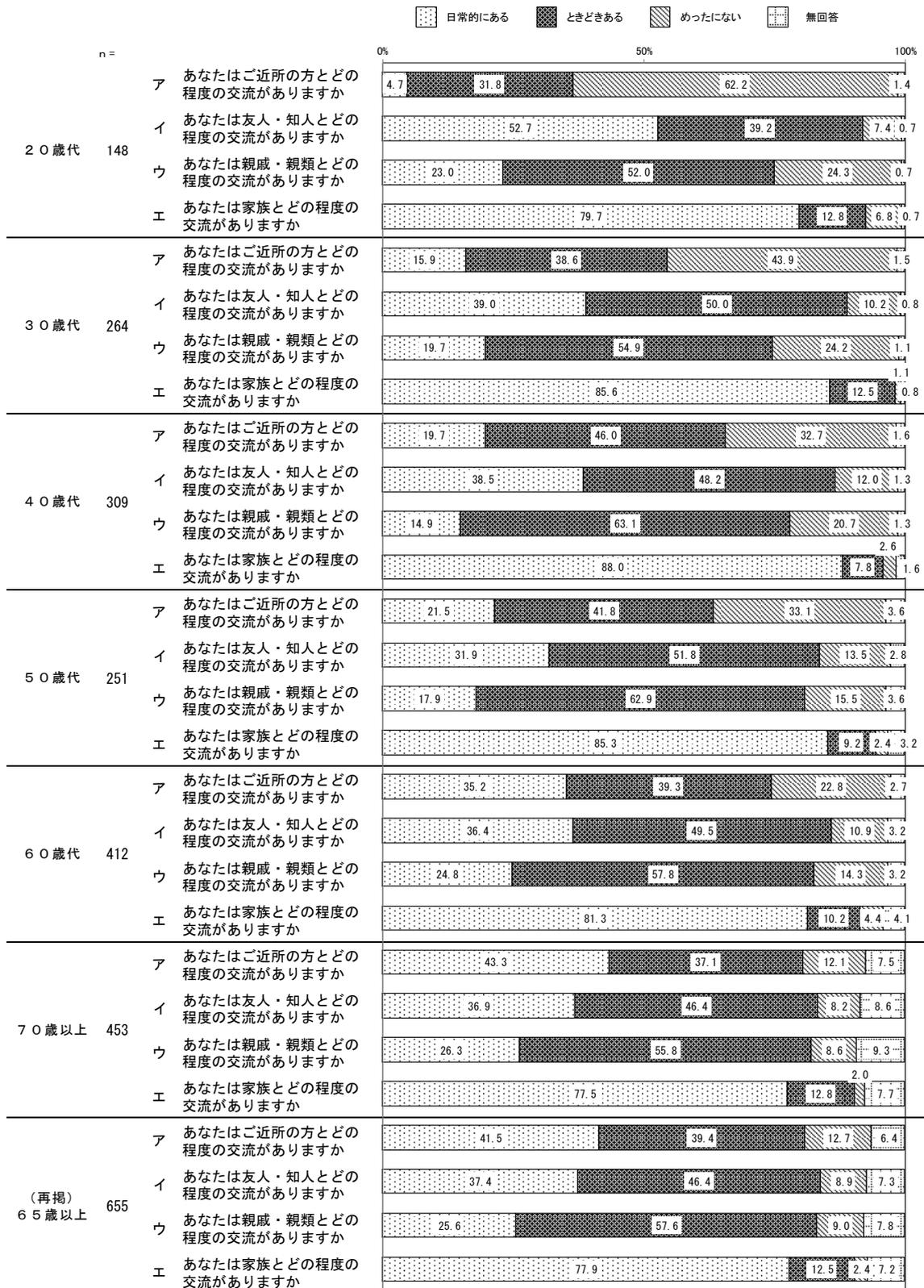
エ あなたは家族とどの程度の交流がありますか

1 日常的にある 2 ときどきある 3 めったにない

- ・地域との交流について、全体では「あなたのご近所の方とどの程度の交流がありますか」の質問で「日常的にある」と回答したのが27.3%で、「日常的にある」、「ときどきある」を合わせた『交流のある』人の割合は7割弱であった。
- ・性別で見るとどの質問も男性より女性の方が『交流のある』人の割合が高かった。



・年代別にみると、「あなたはご近所の方とどの程度の交流がありますか」の質問では『交流がある』人は年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向がある。



## 41 居住地域の状況

問27 あなたのお住まいの地域についておたずねします。

次のアからエの質問について、あてはまる番号に1つずつ○印をつけてください。

ア あなたのお住まいの地域ではお互いに助け合っていますか。

イ あなたのお住まいの地域では信頼できますか。

ウ あなたのお住まいの地域ではお互いにあいさつをしていますか。

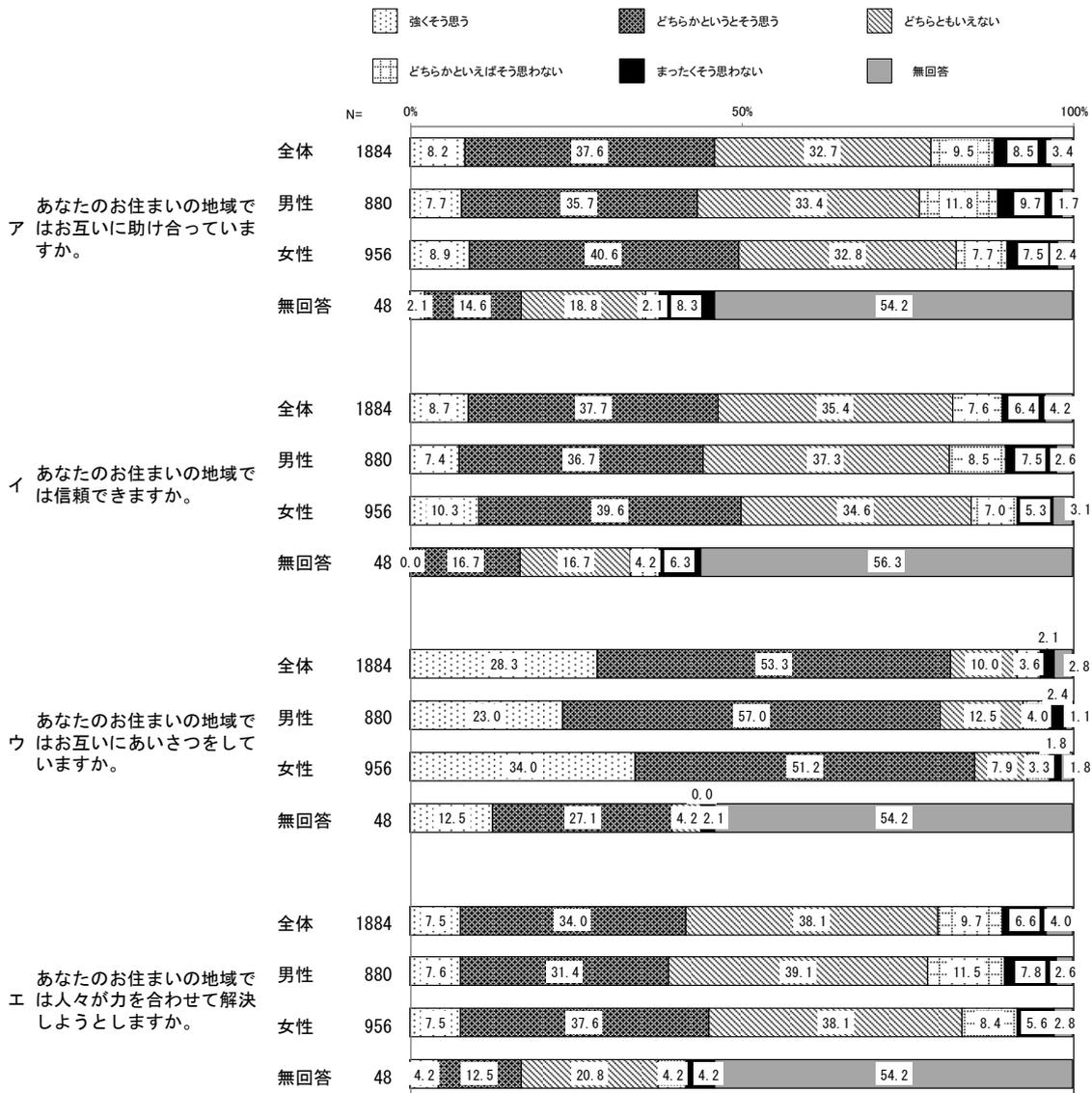
エ あなたのお住まいの地域では人々が力を合わせて解決しようとしていますか。

1 強くそう思う 2 どちらかというと思う 3 どちらともいえない

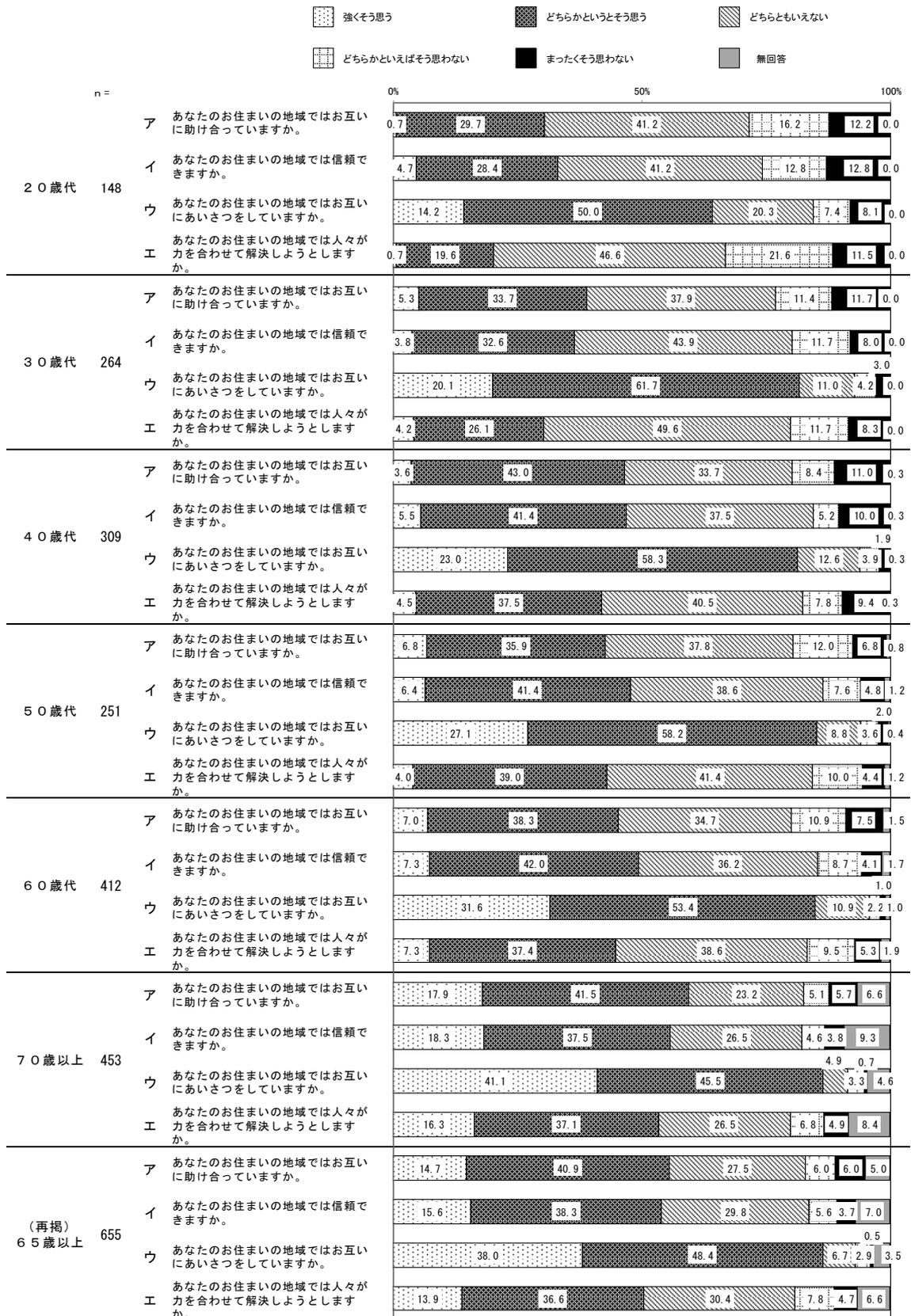
4 どちらかといえばそう思わない 5 まったくそう思わない

- ・居住地域の状況について、全体では「あなたのお住まいの地域ではお互いにあいさつをしていますか。」の質問に対して、「強くそう思う」「どちらかというと思う」を合わせた、『そう思う』人の割合が8割を占める。

- ・性別に見ると、どの質問も男性より女性の方が『そう思う』人の割合が高い。



・年代別にみると、20歳代はどの質問でも『そう思う』人の割合が、他の年代と比べると最も低くなっている。

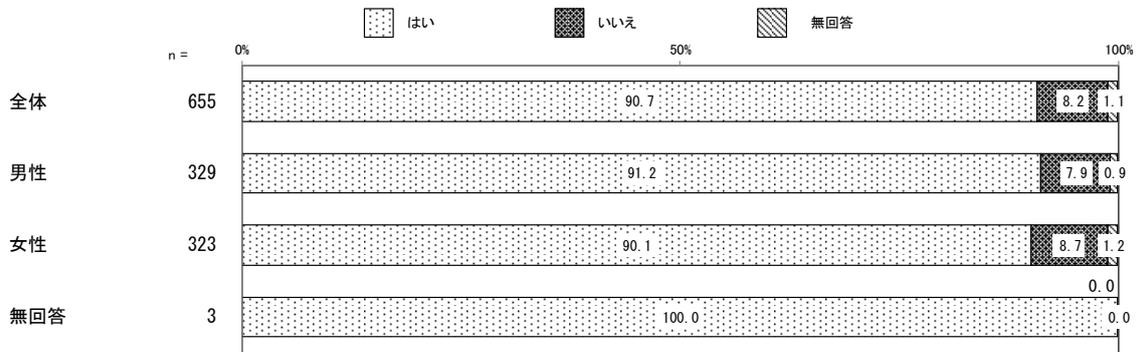


## 42 外出頻度 [65 歳以上]

問 2 8 あなたは週に 1 回以上、外出していますか。(65 歳以上)

1 はい 2 いいえ

・65 歳以上の高齢者の週 1 回以上の外出の有無は、全体の 90.7%が「はい」と回答しており、男女間で大きな差は見られなかった。

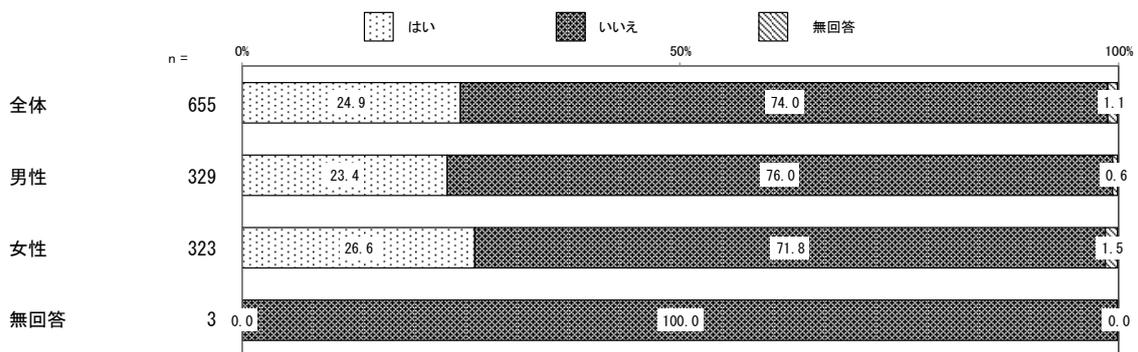


## 43 外出頻度の変化 [65 歳以上]

問 2 9 あなたは昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(65 歳以上)

1 はい 2 いいえ

・65 歳以上の高齢者の外出が昨年と比べ回数が減っているかについて、全体の約 4 人に 1 人が「はい」と回答しており、男女間で大きな差は見られなかった。



## 44 足腰の症状 [65 歳以上]

### 問30 あなたは次のような症状がありますか。(複数回答可) (65歳以上)

1 肩こり 2 腰痛 3 手足の関節が痛む 4 手足の動きが悪い 5 手足のしびれ 6 手足が冷える  
7 足のむくみやだるさ 8 その他 9 全くない

- ・ 65歳以上の高齢者の現在抱えている体の症状について、全体では「腰痛」が44.7%で最も高く、以下「肩こり」が35.6%、「手足の関節が痛む」が27.8%で続いている。
- ・ 性別で見ると、「腰痛」は男性(47.4%)が女性(42.1%)よりも高く、「手足の関節が痛む」(男性23.7%、女性31.9%)、「手足が冷える」(男性13.1%、女性22.3%)、「足のむくみやだるさ」(男性14.6%、女性23.2%)は女性の方が男性よりも高かった。

